

資 料

岸信介内閣期（1957～1960年）の 主要地方紙社説・論説一覧

——日中・日韓関係，日米安保改定と憲法問題をめぐって(1)——

梶 居 佳 広

目次

はじめに

第1部：中国・日中関係をめぐる社説・論説

第2部：日韓関係・朝鮮問題をめぐる社説・論説（以上，本号）

第3部：憲法問題・安保改定をめぐる社説・論説

解題（簡単な解説）

はじめに

1. この一覧は，岸信介内閣（1957年2月25日～1960年7月19日）期において主要な地方紙がどのような論陣を張っていたかを探るべく，特に重要な課題であった日米安全保障条約改定と憲法（改正）問題，当時（台湾にある中華民国＝国民政府を例外として）国交正常化が実現していなかった韓国（大韓民国）・朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国），中国（中華人民共和国）との関係をめぐる社説・論説を掲載順に並べたものである。

2. 採録した地方紙は1960年当時の部数が12万部以上の新聞とした（社団法人日本新聞協会編『日本新聞年鑑 1961年版』（電通発行，1961年）を参照。なお1960年の日刊紙の部数総計は約2400万部であった）。

3. 解題に代わる簡単な解説は「第3部」のあとに載せることにする。

第1部：中国・日中関係をめぐる社説・論説

50万部以上

北海道新聞

- 1957年4月8日 訪米の手みやげ
- 1957年4月12日 尻馬に乗った日中貿易打開
- 1957年4月16日 日中国交正常化と日米安保条約
- 1957年4月23日 アジアへの窓を開け
- 1957年4月24日 浅沼・張共同声明を喜ぶ
- 1957年4月27日 日中貿易打開に自主性を高めよ
- 1957年5月20日 通常国会おわる
- 1957年5月24日 チンコム制限は無条件廃止せよ
- 1957年6月1日 チンコム撤廃をためらうな
- 1957年6月6日 反省なき岸外交
- 1957年6月7日 東南ア開発基金に期待できるか
- 1957年6月16日 岸首相への注文
- 1957年7月2日 難問山積の岸政権
- 1957年7月8日 中国人民大会の問題点
- 1957年7月17日 遅ればせの中共貿易緩和
- 1957年8月1日 日中関係調整無関心でいいのか
- 1957年8月24日 日中貿易調整の機会を失うな
- 1957年9月8日 藤山経済外交の方向
- 1957年9月29日 停滞する日本外交
- 1957年12月3日 中国赤十字代表を歓迎する
- 1958年2月9日 日中貿易協定の締結を急げ
- 1958年2月13日 反共外交から脱皮せよ
- 1958年2月21日 中国軍の北鮮撤退
- 1958年2月28日 時流にのった日中鉄鋼協定
- 1958年3月2日 八方ふさがりの岸外交
- 1958年3月6日 日中貿易拡大に焦点をしばれ
- 1958年3月30日 これでも“現実政治”か
- 1958年4月9日 日中協定に国府の自重を求める
- 1958年4月15日 日中両政府の協調を求める
- 1958年5月9日 日中調整に政府の反省を促す
- 1958年5月13日 日中関係調整は早い方がいい
- 1958年5月27日 新経済外交をどうするのか
- 1958年6月15日 経済外交の行詰まりを打開せよ
- 1958年6月18日 岸演説と日中問題
- 1958年6月22日 無責任不勉強な外交方針
- 1958年6月28日 空転しない友好運動を
- 1958年7月8日 岸外交でよいのか
- 1958年7月9日 特別国会を顧みて
- 1958年8月10日 日中調整になぜ手を打てないか
- 1958年8月29日 台湾海峡の戦火を拡大するな
- 1958年9月3日 藤山・ダレス会談と日本国民
- 1958年9月6日 重大段階に立つ台湾海峡の情勢
- 1958年9月9日 米中会談への要望
- 1958年9月20日 中国と台湾と日本
- 1958年9月23日 台湾海峡の緊張に手を打て
- 1958年10月7日 和こそ最上の計

1958年10月14日 停戦延長につづくもの
 1958年10月22日 国府軍撤退に踏みきれ
 1958年10月25日 平和への努力を放棄するな
 1958年12月18日 毛沢東氏の国家主席辞任
 1959年 1 月14日 日中調整熱の再燃に問う
 1959年 2 月 5 日 日中関係打開の“カギ”は何か
 1959年 2 月15日 日中関係に幻想を抱くな
 1959年 3 月17日 周恩来談話と日中問題の所在
 1959年 3 月25日 社党訪中使節団の成果はなにか
 1959年 4 月28日 劉少奇新主席と中国の基本政策
 1959年 5 月15日 参議院選挙の政治的意義は何か
 1959年 6 月28日 低調に終わった国会の論戦
 1959年 8 月28日 中共八中全会の決定が示すもの
 1959年 9 月 1 日 岸首相は冷戦の思想から脱却せよ
 1959年 9 月22日 石橋・周声明をどうみるか
 1959年 9 月27日 石橋氏の訪中の意義は何か
 1960年 1 月10日 非現実的な最近の日中打開論議
 1960年 4 月12日 周恩来演説と日本外交

東京新聞

1957年 3 月19日 中共禁輸緩和への動向
 1957年 3 月23日 日中国交回復と社会党の構想
 1957年 4 月12日 対中共貿易禁輸の緩和に努力せよ
 1957年 4 月22日 社会党の第三勢力外交
 1957年 4 月23日 二大政党下の社会党としてこれでよいのか
 1957年 4 月28日 中共禁輸緩和に国内の統一体制をとれ
 1957年 5 月23日 緩和にならぬ
 1957年 5 月31日 対中共禁輸の緩和は英国の線まで進め
 1957年 6 月10日 岸総理訪米の背景は大きく変わった
 1957年 6 月16日 相互理解の増進こそ最大のみやげ
 1957年 6 月22日 共同声明をどう具体化するか
 1957年 6 月25日 中共の整風運動と矛盾の克服
 1957年 7 月 8 日 中共貿易を拡大させるためには
 1957年 7 月17日 中共禁輸の緩和
 1957年 7 月23日 指紋問題とその解決の方法
 1957年 8 月 6 日 中共の態度硬化をどうみるか
 1957年 9 月 5 日 日中貿易の促進
 1957年11月 5 日 政府は日中貿易に熱意を持って
 1957年11月29日 未帰還者の処理を温かく
 1958年 2 月11日 中共人民代表大会の動向から
 1958年 2 月15日 対中共貿易方針を明確にせよ
 1958年 2 月19日 外交的行詰まりをどうするか
 1958年 2 月21日 撤兵と中共の新和平攻勢
 1958年 2 月28日 新段階を画した日中鉄鋼協定
 1958年 3 月 6 日 第4次日中貿易協定成る
 1958年 3 月21日 国府に誠意を尽くすしかない
 1958年 4 月10日 日中協定の最終解決を望む
 1958年 4 月15日 中共は現実を直視すべきだ
 1958年 4 月29日 国際督促の態度は何事か
 1958年 5 月 7 日 中共和国旗事件

- 1958年 5月9日 何をねらっての漁船捕獲か
- 1958年 5月13日 中共の対日態度は逆効果
- 1958年 5月27日 落ち着いて「中共の真意」をみよ
- 1958年 8月5日 フルシチョフ・毛沢東会談の意義
- 1958年 8月16日 共産圏輸出緩和と日中貿易
- 1958年 8月18日 油断ならぬ中共の東南ア進出
- 1958年 8月30日 中共の台湾武力解放は危険だ
- 1958年 8月31日 あきれた“佐多報告”
- 1958年 9月3日 藤山ダレス会談の二つの眼目
- 1958年 9月6日 中共の一方的宣言は認められぬ
- 1958年 9月9日 米中会談再開に望む
- 1958年 9月11日 中共の現実的態度を期待する
- 1958年 9月18日 国連総会と台湾問題
- 1958年10月13日 中共の砲撃停止継続を歓迎
- 1958年10月18日 「NBC 放送」への疑惑
- 1958年10月22日 中共の計算に誤算はないか
- 1958年10月24日 新段階を迎えた台湾海峡
- 1958年11月21日 愚かな内政干渉
- 1958年12月18日 毛主席辞任の背景をさぐる
- 1959年 1月14日 動き出した日中関係
- 1959年 1月31日 国会はこれでよいのか
- 1959年 2月24日 対中共外交を一本化せよ
- 1959年 3月14日 国辱的な訪中使節団
- 1959年 3月19日 訪中使節団の皮肉な結末
- 1959年 3月25日 日中問題の今後
- 1959年 3月30日 チベットの反乱
- 1959年 4月7日 見逃せぬチベットの悲劇
- 1959年 4月28日 意外な劉少奇新主席
- 1959年 8月28日 公表通りは伸びぬ中共の建設
- 1959年 9月1日 石橋氏の訪中について
- 1959年 9月8日 中印の紛争
- 1959年 9月11日 周書簡の意図は
- 1959年 9月21日 “一人相撲”に終わった石橋訪中
- 1959年10月5日 注目される今後の中共外交
- 1959年11月11日 周恩来書簡のネライは何か？
- 1959年12月22日 周首相書簡を促したもの
- 1960年 3月1日 中・印国境紛争の打開なるか
- 1960年 4月12日 周首相演説に注目する

中部日本新聞

- 1957年 3月7日 中共、今後の動向
- 1957年 4月11日 社党訪中団は現実を忘るな
- 1957年 4月19日 中共首脳の言明
- 1957年 4月21日 中共禁輸の緩和を活かす道
- 1957年 4月24日 簡単に実現できぬ日中復交
- 1957年 6月1日 チンコム会議の失敗と日本
- 1957年 6月20日 中共の現実を正視せよ
- 1957年 6月29日 中共貿易に備えよ
- 1957年 7月17日 対中共禁輸の緩和
- 1957年 8月14日 指紋問題の前進を

- 1957年 8 月15日 外交立直しの好機
1957年 8 月18日 容認できぬ中共の新禁漁区
1957年 9 月 1 日 妥当な貿易事務所
1957年 9 月 8 日 引揚げ問題に望む
1957年10月 4 日 張群特使を送る
1957年10月12日 再び引揚げに望む
1957年11月 3 日 日中貿易交渉の中断を憂う
1957年12月25日 日中 4 次協定へ決断を望む
1958年 2 月 4 日 日中郵便協定に期待
1958年 2 月18日 日中貿易の新段階
1958年 2 月28日 中共貿易交渉に臨む態度
1958年 3 月 6 日 第 4 次日中貿易協定の締結
1958年 3 月13日 外務当局の奮起を望む
1958年 4 月 7 日 国民的自覚に立つ外交を
1958年 4 月10日 八方美人的な国旗問題の処理
1958年 4 月15日 宙に浮いた日中貿易協定
1958年 5 月 9 日 遺憾な中共の相次ぐ強硬措置
1958年 5 月13日 中共問題を政争の具にするな
1958年 5 月27日 中共問題に毅然たる態度で臨め
1958年 6 月21日 日中関係をどう打開するか
1958年 6 月29日 日中議連の解消
1958年 7 月10日 外交の基本を打立てよ／密出入国を取締まれ
1958年 7 月22日 中共の経済進出
1958年 8 月 5 日 中ソ首脳会談をどう見るか
1958年 8 月16日 ココムの禁輸緩和と中共貿易
1958年 8 月29日 台湾海峡の平静を望む
1958年 8 月31日 理不尽な中共の六条件
1958年 9 月 6 日 ダレス長官の対中共声明
1958年 9 月11日 台湾問題と日加会談の成果
1958年 9 月13日 “現状凍結” が先決
1958年 9 月19日 藤山演説と中国問題
1958年 9 月26日 外相の帰国に当って
1958年10月 7 日 台湾海峡の恒久的停戦を望む
1958年10月22日 中共の砲撃再開と米華会談
1958年10月24日 ダレス・蔣会談と日本の立場
1958年11月21日 筋の通らぬ中共の対日声明
1958年12月 5 日 中ソの対日干渉の背景
1958年12月18日 毛沢東氏の国家主席引退
1959年 1 月15日 中共貿易再開の動き
1959年 2 月10日 日中関係の新段階を開け
1959年 2 月22日 中共への窓口を一本化せよ
1959年 3 月 2 日 社会党の訪中使節団に望む
1959年 3 月17日 受入れがたい中共首相の談話
1959年 3 月19日 浅沼・張共同声明に失望する
1959年 3 月22日 中共貿易への幻想を捨てよ
1959年 3 月25日 少数民族の抵抗
1959年 4 月20日 “政治的” な周首相演説
1959年 4 月25日 チベット問題の示唆
1959年 4 月28日 劉少奇中共主席の出現
1959年 5 月 4 日 中共の動向をどう認識するか

1959年 8月27日 中共の新動向
 1959年 8月29日 中ソを訪問する政治家に
 1959年 8月31日 インド北辺の緊張状態
 1959年 9月 7日 石橋氏の中共訪問に望む
 1959年 9月21日 石橋・周共同声明の問題点
 1959年 9月27日 石橋氏に望む慎重な言動
 1959年10月 9日 台湾問題の新局面
 1959年11月11日 中印紛争の平和解決
 1959年12月23日 中印紛争解決のカギ
 1960年 1月13日 日中問題を政争の具にするな
 1960年 1月24日 中共経済建設の大勢
 1960年 4月28日 中印首相会談の結末

西日本新聞

1957年 3月12日 社会党の訪中使節団に望む
 1957年 3月23日 中共貿易政策を再検討せよ
 1957年 4月12日 中共貿易緩和の機運をのがすな
 1957年 4月17日 案外現実的な周首相の構想
 1957年 4月24日 平らでない日中復興への道
 1957年 5月16日 楽観を許さぬチンコム会議
 1957年 5月22日 里帰りの妻をめぐる問題
 1957年 6月 1日 チンコム決裂と日本の態度
 1957年 6月13日 対米話し合いの基調は何か
 1957年 6月19日 中共の人民代表大会の焦点
 1957年 6月25日 出足の遅れた中共貿易緩和
 1957年 6月28日 難問をはらんだ中共経済建設
 1957年 7月17日 楽観を許さぬ日中貿易の前途
 1957年 8月 1日 矛盾する首相の対中共政策
 1957年 8月 4日 中共見本市の延期を惜しむ
 1957年 8月14日 日中の指紋問題の解決策
 1957年 8月18日 禁漁区設定の真相をつかめ
 1957年 8月23日 対共産圏貿易に欲しい自主性
 1957年 8月31日 なぜ通商代表部では悪いのか
 1957年 9月12日 日中貿易交渉に望まれる態度
 1957年10月 8日 日中印三国協力のネール構想
 1957年10月25日 指紋免除への便法はないか
 1957年11月 5日 日中貿易交渉の前進を望む
 1957年12月23日 日中貿易交渉を早急再開せよ
 1958年 1月25日 異例でない中共人民代表大会
 1958年 2月 8日 日中貿易交渉の再開に望む
 1958年 2月14日 訪中鉄鋼使節団の成果に期待
 1958年 2月15日 矛盾する中共の「二つの中国」論
 1958年 2月21日 外国人登録法の改正後の問題
 1958年 2月23日 日中交渉は現実的に進めよ
 1958年 3月 1日 中共貿易を刺激する鉄鋼協定
 1958年 3月 6日 日中貿易協定は調印されたが
 1958年 3月15日 わが国と国府・中共との関係
 1958年 3月21日 性急な国府の対日通商断交
 1958年 4月 5日 国府、中共とももっと冷静たれ
 1958年 4月10日 まず日中貿易協定の実施だ

1958年 4月15日 日中両国はいま一度話合え
 1958年 4月25日 国旗掲揚の「権利」で歩み寄りを
 1958年 5月10日 日中関係の友好維持を望む
 1958年 5月14日 日中問題を選挙に利用するな
 1958年 6月 4日 日中漁業協定の仮延長を望む
 1958年 6月21日 対中共政策は果たして変わったか
 1958年 6月28日 日中議員連盟は解消すべきか
 1958年 8月 5日 中ソ首脳会談の共同利用
 1958年 8月18日 対中共政策の確立を望む
 1958年 8月27日 重大化した金門・馬祖の情勢
 1958年 8月31日 「洗脳」的な中共の対日条件
 1958年 9月 7日 金門情勢の拡大化を避けよ
 1958年 9月 9日 米中会談再開の声明を喜ぶ
 1958年 9月14日 気がかりな日米共同発表の表現
 1958年 9月19日 前進した政府の日中関係言明
 1958年 9月20日 国連総会の台湾討議と日本
 1958年 9月28日 台湾海峡紛争と日本
 1958年10月 8日 台湾海峡停戦の実現を望む
 1958年10月25日 樂觀できぬ台湾会談の結末
 1958年11月21日 日米安保交渉と陳毅声明
 1958年12月18日 毛主席の引退と人民公社運動
 1959年 1月 6日 アジア外交に新路線を築け
 1959年 1月18日 日中貿易再開へ機会をつかめ
 1959年 2月16日 社会党訪中使節団への注文
 1959年 2月24日 日中関係打開の具体的条件は
 1959年 3月15日 慎重さを欠いた浅沼演説
 1959年 3月19日 日中共同声明の示す方向
 1959年 4月24日 注目すべき中共の経済建設
 1959年 4月29日 中共の新国家人事と今後
 1959年 7月11日 岸首相の外遊と中国問題
 1959年 8月29日 石橋氏の初志を貫徹せよ
 1959年 9月22日 石橋・周共同声明の意義
 1959年10月 4日 国際緊張の緩和と極東
 1959年10月23日 チベット決議と国連の機能
 1959年11月13日 松村・周会談の成果を生かせ
 1960年 3月11日 金門、馬祖を極東から除け
 1960年 4月12日 周演説に見られる中共の意図
 1960年 6月28日 中ソ両国間の帝国主義論争

| |
|--------|
| 30万部以上 |
|--------|

京都新聞

1957年 3月 7日 日本の“二つの中国”論
 1957年 3月11日 社会党の“積極外交”
 1957年 4月 4日 岸訪米の準備に望む
 1957年 4月27日 日、中貿易の限界
 1957年 4月28日 社会党と日中復交問題
 1957年 5月16日 社会党外交の試練
 1957年 6月 1日 中共貿易の遅れを取り戻せ
 1957年 6月 7日 日中貿易の前途

1957年 6月20日 “毛沢東演説”の問題点
 1957年 7月25日 中共貿易緩和の一カ月
 1957年 8月 1日 共産圏の誤解を解け
 1957年 8月 3日 日中貿易をどうするか
 1957年 8月23日 次は日中取引の促進へ
 1958年 3月 6日 第四次日中貿易協定の成立
 1958年 3月20日 日中貿易に本腰を入れよ
 1958年 5月25日 社会党は反省の好機
 1958年 6月14日 何から手をつけるべきか
 1958年 6月21日 日中貿易にとっての突破口
 1958年 6月26日 貿易政策の転換にふみきれ
 1958年 7月 6日 「中共承認」をめぐる論議
 1958年 7月10日 五大使連絡会議への期待
 1958年 7月14日 共産主義をいかに防衛するか
 1958年 8月27日 中共の慎重な態度を望む
 1958年 9月 3日 渡米する藤山外相へ
 1958年 9月 4日 社会党に強さを望む
 1958年 9月 6日 台湾問題によるめく外務省
 1958年 9月10日 平静な米中話し合いを
 1958年 9月11日 藤山外相の責任は重い
 1958年 9月19日 赤城談話の具体化に進め
 1958年 9月22日 心配な台湾問題の成り行き
 1958年10月 1日 熱のない首相、外相演説
 1958年10月22日 米国は国府を説得せよ
 1958年10月27日 米中会談はどうなっている
 1958年11月21日 中共の対日声明に答う
 1958年11月30日 未帰還者調査に協力しよう
 1958年12月 4日 共産側の新和平攻勢
 1958年12月18日 日本は日本、中共は中共
 1959年 1月14日 日中関係打開の手を打て
 1959年 1月22日 首相演説に欠けるもの
 1959年 2月19日 政局を正常な軌道にもどせ
 1959年 3月19日 あきたらぬ日中共同声明
 1959年 3月20日 最近の社会党に与える
 1959年 4月22日 フルシチョフ回答に答う
 1959年 4月28日 劉・毛に二人三脚時代
 1959年 9月 6日 フルシチョフの中共訪問
 1959年 9月22日 余りにも派閥的な川島発言
 1959年 9月27日 日中関係と個人外交
 1959年 9月30日 疑惑を呼ぶ中共の態度
 1959年10月12日 チベット問題採決に思う
 1960年 1月11日 能動的な日中関係の打開を
 1960年 1月24日 岸首相の帰国と政局
 1960年 4月12日 静観主義で十分なのか
 1960年 4月29日 中印会談の成果

大阪新聞（～1959. 11.15社説欄消滅）

1957年 3月 1日 岸と石橋の違い
 1957年 3月23日 岸首相訪米と中共貿易
 1957年 4月24日 日中復興と共同声明

| | |
|---------------|------------|
| 1957年 6 月 2 日 | チンコムは存続するか |
| 1957年 8 月 1 日 | 中共の硬化は遺憾 |
| 1957年 8 月 5 日 | なぜ消息が分らぬか |
| 1958年 1 月31日 | 焦点のない施政方針 |
| 1958年 2 月 8 日 | 中共にいく鉄鋼使節団 |
| 1958年 3 月 1 日 | 広州日本商品展の効果 |
| 1958年 3 月11日 | 日中貿易今後の課題 |
| 1958年 4 月18日 | 中共貿易と社会党 |
| 1958年 6 月 2 日 | 中共貿易と財界見解 |
| 1958年 6 月 8 日 | 日中漁業協定の失効 |
| 1958年 7 月 1 日 | 大事のまえの小事 |
| 1958年 9 月 8 日 | 政争の具にするな |
| 1958年 9 月12日 | 台湾海峡の緊張ゆるむ |
| 1958年10月 6 日 | 台湾問題解決への道 |
| 1959年 1 月12日 | 日中貿易解決は超党で |
| 1959年 1 月27日 | 藤山構想を実現せよ |
| 1959年 1 月31日 | 田崎談話と日中関係 |
| 1959年 2 月21日 | “人民貿易”の是非 |
| 1959年 3 月18日 | 日中関係の新段階 |
| 1959年 3 月26日 | 訪中使節団の偏向 |
| 1959年 4 月 1 日 | チベットの反乱 |
| 1959年 4 月28日 | 劉氏の中共主席選任 |
| 1959年 6 月 4 日 | 社会党の脱皮に期待 |
| 1959年 8 月28日 | 中共経済建設の調整 |

神戸新聞

| | |
|---------------|--------------|
| 1957年 4 月24日 | 台湾の帰属問題と社会党 |
| 1957年 5 月31日 | 台湾暴動事件の一側面 |
| 1957年 6 月 1 日 | 中共貿易に遅れをとるな |
| 1957年 6 月 5 日 | 問題は帰国後の対米交渉 |
| 1957年 6 月21日 | いかにみるか毛主席論文 |
| 1957年 6 月30日 | 中共新聞人の百花斉放 |
| 1957年 7 月24日 | 軽視される対共産圏外交 |
| 1957年11月 7 日 | 共産国家生れて四十年 |
| 1958年 2 月13日 | 台湾人は台湾のもの |
| 1958年 2 月20日 | 撤兵と共産陣営の意図 |
| 1958年 2 月21日 | 協定成立と中共貿易 |
| 1958年 2 月27日 | ひなたに出た中共貿易 |
| 1958年 2 月28日 | きょう二・二八記念日 |
| 1958年 3 月 6 日 | 日中貿易協定を生かすカギ |
| 1958年 4 月 8 日 | 国府関係の悪化と台湾人 |
| 1958年 4 月15日 | 誤算の上に立つ中共 |
| 1958年 5 月11日 | 露骨すぎる中共の外交 |
| 1958年 5 月14日 | 中共の態度と日本の問題 |
| 1958年 6 月18日 | 心肝を披かざる施政演説 |
| 1958年 8 月 3 日 | 台湾は極東のレバノン |
| 1958年 8 月 7 日 | フ首相の方向転換と中共 |
| 1958年 8 月27日 | 中共の冒険を深く憂う |
| 1958年 9 月 8 日 | 重視せよ中共東南ア進出 |
| 1958年 9 月10日 | 台湾にネールの乗出しを |

| | |
|---------------|--------------|
| 1958年 9 月21日 | 台湾問題をどう解決する |
| 1958年 9 月22日 | 画期的な中共の人民公社 |
| 1958年 9 月29日 | 臨時国会の審議に望む |
| 1958年10月12日 | 登場する台湾の独立問題 |
| 1958年10月21日 | ダレス・蒋会談と中共 |
| 1958年10月26日 | 明確化した二つの中国 |
| 1958年11月19日 | 先物買いの危険持つ政治 |
| 1958年12月18日 | 人民公社問題と毛沢東 |
| 1959年 2 月28日 | 「二・二八」と台湾の独立 |
| 1959年 3 月 4 日 | 日中再開のための方途 |
| 1959年 3 月18日 | 超党派外交を考えよ |
| 1959年 4 月 9 日 | 民族自決とチベット問題 |
| 1959年 4 月28日 | 毛沢東辞任と中共の進路 |
| 1959年 7 月 5 日 | 転機迎えた人民公社運動 |
| 1959年 8 月22日 | 試練に直面する人民公社 |
| 1959年 8 月28日 | 再出発する人民公社 |
| 1959年 9 月 1 日 | 中国の態度とインド |
| 1959年 9 月 7 日 | 自民党首脳の訪中、訪ソ |
| 1959年 9 月28日 | 吹き荒れるか石橋旋風 |
| 1959年10月 6 日 | 転向迫られる中国 |
| 1960年 4 月 4 日 | 人民公社ひとまず成功 |
| 1960年 4 月13日 | 平和の仲間入りする中国 |

中国新聞

| | |
|---------------|--------------|
| 1957年 4 月12日 | 中共貿易への明るい見通し |
| 1957年 4 月12日 | 日中国交への中共の態度 |
| 1957年 4 月20日 | 中共貿易の緩和につき |
| 1957年 5 月31日 | チンコム緩和をめぐるもの |
| 1957年 6 月 1 日 | 激化する貿易競争 |
| 1957年 7 月 3 日 | 中共禁輸緩和の線 |
| 1957年 8 月 4 日 | 中共にいかに対処するか |
| 1957年 8 月 9 日 | 内外にわたる多端な時局 |
| 1957年 8 月19日 | 中共政策の修正論について |
| 1957年 9 月 1 日 | 日中貿易の促進 |
| 1958年 2 月12日 | 日中貿易協定をめぐる動き |
| 1958年 2 月24日 | 第四次協定成立させよ |
| 1958年 3 月15日 | 日中貿易への支持と協力 |
| 1958年 4 月 4 日 | 中共・国府の板挟み避けよ |
| 1958年 4 月15日 | 問題化した対中共関係 |
| 1958年 5 月 9 日 | 対中共関係悪化の形勢 |
| 1958年 5 月12日 | 果たして敵対行為だろうか |
| 1958年 6 月 2 日 | 日中貿易全面停止の背景 |
| 1958年 6 月 6 日 | 新しい中共の外交路線 |
| 1958年 6 月22日 | 近隣友好と経済外交 |
| 1958年 6 月25日 | 日中関係打開への方策 |
| 1958年 7 月 6 日 | 強まる中共の対日攻勢 |
| 1958年 8 月 5 日 | 秘密に開かれた中ソ会談 |
| 1958年 8 月16日 | ココム禁輸緩和と日中貿易 |
| 1958年 8 月27日 | 台湾海峡の新たな緊張 |
| 1958年 8 月29日 | 金門上陸の可能性 |

1958年 9 月 2 日 外相訪米と対中共問題
 1958年 9 月 5 日 急迫する金門問題
 1958年 9 月 6 日 速やかなる国際的措置を望む
 1958年 9 月21日 中共加盟問題の展望
 1958年 9 月25日 中共の加盟問題のタナ上げ
 1958年10月10日 解決への機会をつかめ
 1958年10月14日 停戦の延長と政治心理作戦
 1958年10月24日 ダレス・蒋会谈終る
 1958年11月22日 陳声明に思う
 1958年12月 5 日 共産圏外交攻勢と安保条約
 1958年12月 8 日 日中貿易再開を急げ
 1958年12月19日 毛主席辞任と対日政策
 1959年 2 月24日 日中関係打開への動き
 1959年 3 月 5 日 中共の対日招待外交
 1959年 3 月 9 日 日中関係打開と国際的期待
 1959年 3 月15日 二大政党を育成しよう
 1959年 3 月17日 政治と経済との関連性
 1959年 4 月 4 日 チベットの乱
 1959年 4 月13日 選挙と社会党の反省
 1959年 4 月29日 劉少奇主席の登場
 1959年 6 月13日 アジアの問題
 1959年 8 月28日 八中全会の特異性
 1959年 8 月21日 石橋訪中への期待
 1959年 9 月13日 浮動する二大政党
 1959年 9 月22日 原則と現実の理解
 1959年11月 5 日 雪解けと極東情勢
 1959年12月 1 日 足並み揃えた共産攻勢
 1959年12月 5 日 中共事情の紹介
 1959年12月25日 雪どけと隣邦
 1960年 1 月 7 日 新局面への胎動
 1960年 1 月19日 新しい日米の協力関係
 1960年 2 月15日 問題になる内政干渉
 1960年 3 月 1 日 中印国境解決のきざし
 1960年 4 月27日 中印国境問題
 1960年 6 月22日 極東の政治目標

| |
|--------|
| 20万部以上 |
|--------|

北海タイムス

1957年 4 月11日 社会党の訪中使節団に望む
 1957年 4 月17日 アジア外交の二元化を排す
 1957年 4 月24日 浅沼・張共同声明の理想と現実
 1957年 5 月11日 中共禁輸の緩和を歓迎する
 1957年 6 月 1 日 チンコムの危機と日本の判断
 1957年 6 月22日 日米会談と外交上の自主性
 1957年10月31日 日中貿易交渉をはばむもの
 1958年 2 月20日 宣伝戦から世界平和はこない
 1958年 2 月27日 政府は中共貿易に定見を持て
 1958年 3 月 6 日 外交問題を政争の具とするな
 1958年 3 月 7 日 中共貿易は和戦両様の構えで

- 1958年 3月21日 国府側の措置は果たして妥当か
- 1958年 4月 3日 釈明外交は転かすべき時機
- 1958年 4月15日 遺憾な中国側の回答拒否と非難
- 1958年 5月 9日 中共の攻勢に乗ぜられるな
- 1958年 5月20日 遺憾な中共の文化交流中止通告
- 1958年 6月 5日 日中間問題は静観で打開できるか
- 1958年 6月15日 第二次岸内閣の積極外交に望む
- 1958年 6月21日 中共貿易—明暗二つのコース
- 1958年 8月 3日 強気の静観外交で何をやるか
- 1958年 8月25日 日中、日ソ貿易の打開と拡大へ
- 1958年 8月26日 極東情勢の緊迫と日本の立場
- 1958年 9月 6日 台湾海峡の危機を軽視するな
- 1958年 9月20日 新しい日中関係打開のカギ
- 1958年 9月23日 動揺しはじめた「ふたつの中国」
- 1958年 9月29日 国会で明らかにしてほしい事
- 1958年10月 9日 周首相の所信表明と対中共政策
- 1958年10月16日 岸首相の全米向放送を重視する
- 1958年10月22日 条約改定のふたつのコース
- 1958年10月25日 台北会談の確認で危機は去らぬ
- 1958年12月20日 “人民公社”の決議と自由世界
- 1959年 1月14日 日中貿易の打開を積極的に
- 1959年 1月29日 安保改定か、日中貿易打開か
- 1959年 3月 3日 政府の中共政策と訪中社党使節団
- 1959年 3月19日 社党は日中友好の役割果たしたか
- 1959年 3月26日 岸首相と社党訪中使節団の会談
- 1959年 4月29日 中共の基本路線は変わらない
- 1959年 9月 7日 石橋氏の訪中に何を期待する
- 1959年 9月20日 石橋前首相訪中の成果について
- 1959年 9月22日 石橋・周共同声明と岸内閣
- 1960年 1月 3日 情勢の変化と日中関係の打開
- 1960年 3月 2日 岸主流派と反主流派の思惑
- 1960年 4月12日 中共の新提案をどう受けとるか

河北新報

- 1957年 4月12日 日中貿易の正常化
- 1957年 4月28日 社党訪中使節団の帰国
- 1957年 7月24日 中共貿易で勇敢になれ
- 1957年 7月29日 日中友好を促進する道
- 1957年 8月11日 藤山外交の新路線
- 1957年10月 6日 対中共政策の重要段階
- 1957年10月30日 日中貿易交渉の中断
- 1957年11月22日 二つの中国の背景
- 1958年 2月 2日 国会の冒頭論戦
- 1958年 2月12日 中共貿易の新段階
- 1958年 2月27日 日中貿易交渉の一面
- 1958年 3月 8日 中共貿易と対米貿易
- 1958年 3月21日 中華民国と直接話合え
- 1958年 4月 6日 二つの中国と日本
- 1958年 4月12日 日中、日華問題の解決
- 1958年 4月16日 冷静な話し合いで解決を

| | |
|---------------|------------------|
| 1958年 5 月11日 | 解しかねる中共の態度 |
| 1958年 5 月14日 | 中共との問題を重視する |
| 1958年 6 月21日 | 容易ならぬ中共対策 |
| 1958年 8 月25日 | 新情勢下の中共問題 |
| 1958年 8 月28日 | “平和”を台湾海峡で示せ |
| 1958年 9 月 1 日 | 佐多報告書の問題点 |
| 1958年 9 月11日 | 米・中会談成功のために |
| 1958年 9 月26日 | 藤山外相の帰国を迎える |
| 1958年10月 9 日 | 平和解決の機会を生かせ |
| 1958年10月24日 | 中東の撤退と台湾の緊張 |
| 1958年10月25日 | ダレス・蔣共同声明の意味 |
| 1958年12月 3 日 | アジア貿易の拡大をはかれ |
| 1958年12月 6 日 | 共産側の中立化政策 |
| 1959年 1 月18日 | 中共対策は超党派で |
| 1959年 1 月25日 | アジア政局の新方向 |
| 1959年 1 月28日 | 抽象、空疎な施政演説 |
| 1959年 2 月 4 日 | 日中貿易再開の方向 |
| 1959年 2 月19日 | 中共訪問に慎重を期せ |
| 1959年 3 月16日 | 中共での浅沼発言 |
| 1959年 3 月18日 | 「積極的中立政策」の崩壊 |
| 1959年 3 月20日 | 国際的な物乞いはやめよう |
| 1959年 3 月25日 | 社党使節団は反省せよ |
| 1959年 4 月29日 | 転機を迎えた中共政権 |
| 1959年 7 月15日 | 社会党は国民の疑問に答えよ |
| 1959年 8 月12日 | 帰国した首相への大課題 |
| 1959年 9 月 2 日 | 意義深い石橋氏の訪中 |
| 1959年 9 月 4 日 | 不可解な中共の動き |
| 1959年 9 月23日 | 中共側の強引な政治的圧力 |
| 1959年10月 6 日 | 中ソ首脳会談と中共の態度 |
| 1959年11月 6 日 | 米中会談に期待する |
| 1959年12月 9 日 | 日中関係打開の大前提 |
| 1960年 1 月 5 日 | 六〇年の課題『中共問題』 |
| 1960年 1 月13日 | みにくい自民党の総裁争い |
| 1960年 1 月24日 | 岸首相は出处進退を誤るな |
| 1960年 1 月26日 | 渡米成果の見当らぬ首相の記者会見 |
| 1960年 4 月 3 日 | 注目すべき中共人民大会 |

新潟日報

| | |
|---------------|--------------|
| 1957年 4 月 1 日 | 日中貿易の障害を除け |
| 1957年 4 月13日 | 訪中使節団への期待 |
| 1957年 4 月29日 | 訪中使節団の収穫 |
| 1957年 5 月28日 | 注目される中共の整風運動 |
| 1957年 6 月 1 日 | 英のチンコム脱退と日本 |
| 1957年 7 月12日 | 日中貿易に明快な態度を |
| 1957年 9 月 4 日 | 日中貿易に新展開を |
| 1957年11月 9 日 | 日中貿易の打開をはかれ |
| 1958年 2 月11日 | 日中貿易の新局面 |
| 1958年 3 月 7 日 | 日中貿易協定調印に当って |
| 1958年 4 月16日 | 解しかねる中共の対日態度 |
| 1958年 5 月11日 | 難問題山積の日中関係 |

1958年 5月27日 日中貿易再開への期待
 1958年 6月13日 第二次岸内閣の発足に望む
 1958年 6月18日 具体性を欠く首相の演説
 1958年 6月26日 対中国外交に信念をもて
 1958年 8月20日 日中間のミゾを埋めるために
 1958年 8月29日 台湾海峡の風雲をしずめよ
 1958年 8月31日 高すぎる中共の姿勢
 1958年 9月 2日 二つの中国の共存は不可能か
 1958年 9月 7日 台湾紛争の解決を国連へ
 1958年 9月19日 中共対策の協力を望む
 1958年 9月25日 タナあげの中国代表権
 1958年10月 7日 歓迎すべき中共の休戦提案
 1958年10月18日 岸首相に「誤報」究明の責任
 1958年10月25日 台湾海峡に平和の保障を
 1958年12月19日 毛主席退陣と人民公社の将来
 1959年 1月 8日 日中貿易再開の機運
 1959年 1月31日 日中友好に超党派外交を
 1959年 2月25日 中共交渉に足並みをそろえよ
 1959年 2月26日 社会党の訪中使節団
 1959年 3月16日 不用意な使節団の言動
 1959年 3月19日 日中共同声明の示唆するもの
 1959年 3月25日 社党訪中使節団の成果
 1959年 3月28日 “静観”を踏みきる努力
 1959年 4月21日 高過ぎる中共の姿勢
 1959年 5月25日 世論調査に表れた問題点
 1959年 8月28日 修正された中共の経済計画
 1959年 8月29日 石橋氏の訪中に期待する
 1959年 9月21日 石橋・周声明の示すもの
 1959年 9月26日 石橋報告を利用せよ
 1959年11月13日 自民党の苦渋絶えず
 1960年 1月24日 陳声明の意図
 1960年 3月10日 中共の原爆実験説
 1960年 6月16日 ソ連の極左排撃の背景
 1960年 6月28日 平和共存論をめぐる

北國新聞

1957年 3月 7日 周首相訪問外交の成果
 1957年 4月11日 国内正常化にも世論の力を
 1957年 4月21日 二つの中共貿易緩和案
 1957年 5月 3日 物理学代表団の訪中に思う
 1957年 5月 5日 対中共政策修正の動き
 1957年 5月26日 高まる台湾の反米感情／米英の動きと日中貿易
 1957年 6月 2日 対中共貿易に「現実政策」を
 1957年 6月16日 米国の中共貿易緩和の発言
 1957年 7月17日 中共禁輸緩和と次の振興策
 1957年 7月27日 “中共”の対日硬化を注目
 1957年 8月 4日 対日態度硬化と中共貿易
 1957年 8月10日 好感持てる藤山外交観／期待される藤山さんの持ち味
 1957年 8月17日 社党公開質問の注目点
 1957年 8月25日 中共貿易と禁輸品目の発表

- 1957年10月4日 中共代表権問題をどうする
1957年10月16日 失いたくない中共市場
1957年10月27日 対共貿易構想に積極的たれ
1957年11月3日 日中貿易交渉の休止は遺憾
1957年11月29日 チンコム消滅と日本の反省
1958年2月6日 中国で漢字ローマ字表記法
1958年2月10日 日中の窓を大胆に開け
1958年2月12日 反抗を呼号する蒋総統
1958年2月28日 明るい日中貿易の前途
1958年3月6日 日中貿易の大幅拡大を喜ぶ
1958年3月8日 度胸を据えろ日中関係
1958年3月15日 日中貿易と政府の態度／中共貿易は中小商社の手で
1958年3月22日 外交に言いわけいらぬ
1958年4月5日 国府に“低頭”するな
1958年4月10日 中国人は支那人でない
1958年4月15日 中国よ“大人の”であれ
1958年5月12日 日中断交の局面を開け
1958年5月13日 日中経済悪化を憂う
1958年6月21日 見直す藤山外相の発言
1958年6月24日 “中共”めぐる情勢の変化
1958年7月6日 日曜日の談話室から “中共”めぐる世界の動きを見て
1958年7月22日 中東危機は極東の危機
1958年8月5日 北京詣でのソ連首相
1958年8月18日 中共市場を狙うもの
1958年8月27日 極東の武力衝突を憂う
1958年8月30日 荒れる台湾海峡の展望
1958年9月25日 国連“中共”を締め出す
1958年9月26日 帰国の藤山外相に聞け
1958年10月8日 砲撃の停止を活かせ
1958年11月22日 日米安保条約と陳声明
1958年12月18日 毛中国主席辞任の意味
1959年1月30日 日中関係の打開に思う
1959年2月27日 対米から対米英外交へ
1959年3月4日 社党の訪中は橋渡し
1959年3月11日 米国は日中共同の敵か
1959年3月16日 社会党と日中問題と
1959年3月25日 浅沼団長に苦言を呈す
1959年3月28日 ソ連と中国への不満
1959年4月5日 日曜日の談話室から 世界の屋根チベットに暗雲みつ
1959年4月29日 中国の新陣容に思う
1959年5月21日 蒋総統の“三選”に思う
1959年7月9日 どこへ行くダライ・ラマ
1959年8月30日 日曜日の談話室から 石橋前首相も近く中国訪問のこと
1959年9月1日 九月政界の“天気図”は
1959年9月2日 中印紛争の武力を排せ
1959年9月5日 訪ソ、訪中の旅に思う
1959年9月18日 中共の国連加盟を葬る
1959年10月23日 チベット決議案と日本
1959年10月29日 これが国会の首相演説
1960年1月8日 高まる日中復交の足音

1960年 1月11日 遺憾な首相の対米態度
 1960年 1月19日 新安保の調印に思う
 1960年 1月23日 軍縮協定に“中共”参加
 1960年 3月 3日 “冷風”は吹いているか
 1960年 3月10日 石橋新党を作ったら

信濃毎日新聞

1957年 3月23日 日中貿易の障害除去
 1957年 5月 8日 ココム会議と日本の主張
 1957年 5月26日 岸・ネール会談のあと
 1957年 5月30日 米国の譲歩で打開せよ
 1957年 6月 1日 チンコムの危機と日本
 1957年 6月15日 岸首相の訪米に当って
 1957年 7月 1日 首相の解明を期待する
 1957年 7月17日 新出発の中共貿易
 1957年 7月31日 日中友好の積上げを崩すな
 1957年 8月21日 黙過できぬ中共の措置
 1957年 9月14日 通商代表問題の解決を期待す
 1957年 9月30日 “アジアの一員としての立場”
 1957年11月 3日 あまりにかたくなな中共
 1957年11月14日 台湾海峡に関する首相の答弁
 1957年12月24日 放置できぬ日中貿易の停滞
 1958年 2月12日 相互信頼による日中懸案の解決
 1958年 2月21日 中共軍の北鮮撤退
 1958年 3月 7日 国交未回復の生むまさつ
 1958年 3月21日 国府の対日通商断絶
 1958年 4月11日 日中貿易協定の円滑実施を望む
 1958年 4月15日 中共側の冷静な再考を求む
 1958年 5月12日 日中関係打開のために
 1958年 5月19日 重視すべき対中共政策の相違
 1958年 6月 7日 残念な日中文化交流の中断
 1958年 8月29日 台湾海峡の不安
 1958年 8月31日 余りにかたくなな中共の態度
 1958年 9月29日 藤山外交をはばむもの
 1958年10月 1日 内容のない施政演説
 1958年10月 7日 長期停戦への第一歩に
 1958年10月22日 中共の砲撃再開
 1958年10月25日 台湾会談は何を産んだか
 1958年12月18日 毛主席の党務専念
 1959年 2月11日 裏づけに誠意なき首相発言
 1959年 2月19日 岩井氏の訪中みあげを生かせ
 1959年 3月19日 日中関係打開の厚いカベ
 1959年 3月26日 日中問題は宣伝より打開が第一
 1959年 4月20日 中共とチベット問題
 1959年 4月28日 劉少奇国家主席の選出
 1959年 6月20日 安保条約改定と改造内閣の責任
 1959年 8月29日 石橋元首相の訪中
 1959年 9月 4日 中共の内外政策の姿勢
 1959年 9月21日 有意義だった石橋訪中
 1960年 1月 7日 池田発言と日中関係の打開

山陽新聞

- 1957年 4 月24日 中共における社党使節団の成果
1957年 5 月26日 岸・ネール会談の成果について
1957年 6 月 1日 決裂に陥ったチンコム会議
1957年 6 月16日 訪米の岸首相に望むもの
1957年 6 月23日 共同声明と岸訪米の成果
1957年 7 月 3日 重工業優先を続ける中国経済
1957年 7 月18日 岸内閣の経済外交が担う課題
1957年 8 月 1日 中共の対日態度悪化とその対策
1957年 8 月19日 中共の禁漁区押付け
1957年10月14日 ネール首相来日の成果
1957年10月29日 指紋問題に現実的解決を
1957年11月10日 中共貿易にもっと熱意を
1958年 2 月11日 対中共政策を再検討せよ
1958年 2 月20日 朝鮮の新事態を国連は再検討せよ
1958年 2 月27日 日中鉄鋼交渉の成立と貿易協定
1958年 3 月 6日 日中貿易協定の調印
1958年 3 月21日 通商断絶に国府の反省を求める
1958年 4 月 5日 日中問題に自主性を持て
1958年 4 月11日 日中貿易の円滑な実施を
1958年 4 月15日 中共側の理解を求める
1958年 5 月 9日 中共の漁船捕獲は遺憾
1958年 5 月10日 自社両党の外交公約
1958年 5 月12日 日中関係を悪化させるな
1958年 6 月13日 悪化する日中漁業関係
1958年 6 月16日 新内閣の外交政策に望む
1958年 6 月21日 思想統一を欠く中共政策
1958年 7 月 7日 新外交路線をしくために
1958年 7 月 9日 余りに一方的な中共の対日批判
1958年 7 月13日 対共産圏外交をめぐって
1958年 8 月17日 ココム緩和の及ぼすもの
1958年 8 月26日 重大化した台湾海峡の事態
1958年 9 月 6日 中共と米国の自重を望む
1958年 9 月10日 米中会談に期待する
1958年 9 月20日 “赤城言明”をめぐって／迫力が足らぬ藤山演説
1958年 9 月26日 国連の中国代表権問題
1958年 9 月28日 臨時国会の開会に寄せて
1958年10月 4日 臨時国会の代表質問から
1958年10月 7日 国府は話し合いに応ずべきだ
1958年10月14日 停戦の延長を歓迎する
1958年10月16日 岸首相の重大な発言
1958年10月20日 グレス・蒋会談に寄せて
1958年10月22日 交戦状態の再開は危険だ
1958年10月26日 金門島の収拾策について
1958年12月18日 毛沢東中国主席の辞任
1959年 1 月27日 藤山路線に注目する
1959年 2 月 9日 中ソ経済拡大協定調印の意義
1959年 2 月14日 社会党の訪中使節団をめぐって
1959年 3 月16日 浅沼発言に思う
1959年 3 月19日 社党使節団の成果の受取り方

1959年3月26日 超党派で対中国策をたてよ
 1959年4月29日 劉少奇氏の中共主席就任
 1959年8月30日 保守政治家の中ソ訪問
 1959年9月1日 中印両国は平和五原則に従え
 1959年9月7日 石橋氏の中共訪問に当って
 1959年9月21日 石橋・周共同声明の意義
 1959年9月28日 石橋訪中の結論と展開
 1959年10月31日 喜ばしい日中漁船避難協定
 1960年1月7日 日中関係打開の機運
 1960年1月23日 中共の軍縮加入は当然
 1960年3月2日 アジアの政情とその変化
 1960年3月11日 石橋氏的外交政策について
 1960年4月27日 中印会談と今後の動向
 1960年7月5日 自画自賛的な外交青書

| |
|--------|
| 15万部以上 |
|--------|

愛媛新聞

1957年4月12日 ア米大統領の対日感情
 1957年4月15日 引揚促進の努力が足らぬ
 1957年4月17日 日、中和平の懇談に望む
 1957年4月25日 “日中復交” に冷静な目を
 1957年6月5日 煮え切らぬ日中貿易交渉
 1957年6月16日 岸首相の訪米に望む
 1957年8月1日 振わざる対中共貿易
 1957年8月19日 中共の禁漁区設定
 1957年9月4日 岸首相の静観を支持す
 1957年10月31日 日中貿易出直して考えよ
 1958年2月24日 日中貿易協定代表団を送る
 1958年3月6日 対共産圏外交についての反省
 1958年4月10日 日中貿易協定への政府の同意
 1958年4月15日 強硬すぎる中共の“回答拒否”
 1958年5月11日 中共側こそ考え直すべきだ
 1958年6月20日 日中関係打開の前提にあるもの
 1958年6月22日 訪問外交より当面の仕事が大切
 1958年7月12日 五大使会議と外交新路線の接点
 1958年7月15日 外相は大使会議から何を学んだ？
 1958年8月9日 日中関係の新展開に当って
 1958年8月14日 中共貿易の再開へ積極的に動け
 1958年9月3日 日米会談における中共問題／“佐多報告”をめぐる両党の醜態
 1958年9月10日 台湾問題と米中会談について
 1958年9月15日 米中会談の再開に期待する
 1958年9月20日 気を配りすぎた藤山外相演説
 1958年9月23日 書簡外交の打切りと中国問題
 1958年9月25日 国連は中国問題に真剣に取組め
 1958年10月1日 共通の広場を見失った国会論戦
 1958年10月19日 米中会談と国府の態度
 1958年10月23日 金門砲撃再開とダレス・蔣会談
 1958年10月25日 米・国府共同声明をめぐる
 1958年11月22日 陳声明は日本国民への侮辱

1958年12月27日 人民公社運動と六中全会の決議
 1959年1月29日 鈴木委員長の代表質問と問題点
 1959年2月1日 日中関係打開の動きと政府の態度
 1959年2月10日 “日中関係打開” は本気なのか
 1959年3月17日 “国民外交” に対する中国の回答
 1959年3月19日 浅沼・張共同声明の影響について
 1959年3月22日 中国の“正面交渉” の呼びかけ
 1959年3月26日 訪中使節団と首相らの会談
 1959年4月5日 チベット問題と中・印関係
 1959年4月20日 幕あけた中国人民代表大会
 1959年4月22日 “日中問題” をめぐる首相談話
 1959年4月29日 中国指導層の改選と日中関係
 1959年8月29日 中共の新情勢と石橋、松村招待
 1959年9月7日 フルシチョフ首相の中共訪問
 1959年9月22日 石橋・周共同声明の意味するもの
 1959年9月28日 石橋氏の訪中の成果を生かせ
 1959年10月2日 “日中打開” をめぐる岸・石橋会談
 1959年10月30日 石橋氏の“首相批判” に思うこと
 1959年11月4日 緊張緩和を妨げる中国の武力行使
 1959年11月6日 日中打開を目指す新たな動き
 1959年11月18日 中印国境紛争、中共軍の撤退が先決
 1959年12月4日 “松村報告” は穏やかだけれど
 1960年1月4日 安保新路線を強調した首相所信
 1960年1月5日 新党の基本政策と今後に望むもの
 1960年1月9日 自民党の“中共対策異変” について
 1960年1月24日 いつまで中共に背を向ける気か
 1960年2月18日 中印首相会談の提案をめぐって
 1960年3月10日 石橋・岩井会談と中ソ外交の今後
 1960年4月12日 周首相の新安保攻撃演説
 1960年4月21日 難航思わす中印会談

熊本日日新聞

1957年4月6日 社会党の対中共外交
 1957年4月14日 今後の経済外交に望む
 1957年4月15日 日中貿易と米国の中共政策
 1957年4月26日 中共貿易を推進せよ
 1957年5月26日 自己反省の機運
 1957年6月4日 岸首相に進言する
 1957年6月23日 中共禁輸の緩和とわが国の立場
 1957年6月29日 外遊報告の臨時国会を開け
 1957年7月18日 中共禁輸緩和と問題点
 1957年8月6日 周総理の意図するもの
 1957年8月20日 中共外交、拙速を排す
 1957年11月9日 交渉難点の打開
 1958年2月28日 日中貿易協定の妥結を望む
 1958年3月1日 日中鉄鋼協定は大成功
 1958年3月18日 よろめき外交、口の軽い世論
 1958年3月23日 日台貿易の正常化を望む
 1958年3月25日 国旗だけの問題でない
 1958年4月14日 日中貿易に米の理解を望む

1958年4月15日 足元を見すかされないよう
 1958年4月27日 日中貿易をこじらすもの
 1958年5月13日 北京政権のねらい？
 1958年5月15日 日中関係で社会党に望む
 1958年5月24日 国民審判が意味するもの
 1958年6月28日 あいまいな対中共政策
 1958年7月8日 「静観」外交「出張」外交
 1958年7月15日 やはり静観がいい
 1958年7月19日 中共の貿易攻勢
 1958年8月15日 日中関係打開のために
 1958年8月17日 ココム禁輸と日中関係
 1958年9月2日 謝罪か静観か
 1958年9月9日 台湾及び澎湖諸島
 1958年9月16日 再建日本の地歩
 1958年9月25日 台湾の情勢と外交方針
 1958年9月30日 臨時国会と外交論議
 1958年10月7日 安全保障条約の改定
 1958年11月8日 中共の引起す貿易異変
 1958年12月24日 進行する人民公社
 1958年12月28日 両陣営対峙の現状
 1959年1月19日 日中貿易再開の曙光か
 1959年1月29日 岸、鈴木論争を聴いて
 1959年2月1日 日中貿易再開に努力せよ
 1959年2月22日 漆がとりもつ日中貿易
 1959年3月17日 共産圏との外交
 1959年3月31日 共産主義、帝国主義
 1959年4月21日 活仏と周恩来
 1959年4月24日 中共経済建設の骨子
 1959年4月28日 祖国をとりもどそう
 1959年9月1日 アイクと湛山
 1959年9月12日 中印の国境紛争
 1959年9月24日 石橋氏の訪中と自民党
 1959年9月29日 冷戦の転機と自主外交
 1959年10月10日 中共の経済的躍進
 1959年10月16日 松村氏の訪中に当りて
 1960年1月17日 総裁争いと中共問題
 1960年1月26日 対共産圏外交の心構え

南日本新聞

1957年2月28日 中共貿易を積極化せよ
 1957年4月10日 社党使節団の出発に当って
 1957年4月17日 周首相の発言と国交回復
 1957年4月24日 [月曜論壇] 社会党使節団の共同声明
 1957年4月29日 中共貿易の新しい局面（山田亮三）
 1957年6月1日 英国の中共貿易緩和
 1957年6月3日 [月曜論壇] 現実主義の行動をとれ（武村忠雄）
 1957年7月17日 中共貿易を拡大せよ
 1958年2月9日 日中郵便協定を促進せよ
 1958年2月14日 日中貿易交渉の再開を急げ
 1958年2月20日 中共義勇軍の撤退表明

- 1958年 3月11日 中共貿易は実質を失うな
 1958年 4月21日 [月曜論壇] 認識の甘さへの反省（飯塚浩二）
 1958年 5月 9日 中共八全大会は何を語るか
 1958年 5月10日 日中関係の悪化を恐れる
 1958年 5月18日 外交政策の矛盾と非現実性
 1958年 5月19日 難関にきた日中問題
 1958年 6月 4日 日中漁業協定を話合え
 1958年 6月12日 日中漁業協定の話を望む
 1958年 6月17日 外交政策に自主性を貫け
 1958年 6月18日 抽象的に過ぎる首相演説
 1958年 8月 5日 中ソ首脳会談に続くもの
 1958年 8月15日 日中の壁を打開するとき
 1958年 8月18日 [月曜論壇] アジアの現実を直視せよ（鈴木一雄）
 1958年 8月27日 台湾海峡緊迫の背景
 1958年 9月 1日 [月曜論壇] 台湾海峡の情勢と日本（植田捷雄）
 1958年 9月 4日 外相訪米と日本の立場
 1958年 9月 6日 台湾海峡の新たな情勢
 1958年 9月14日 “日米新時代”の前進へ
 1958年 9月19日 国連総会に期待するもの
 1958年 9月26日 「中共加盟」のタナ上げと今後
 1958年10月 6日 [月曜論壇] 米極東政策転換と日本（入江啓四郎）
 1958年10月19日 台湾海峡の停戦実現を急げ
 1958年10月22日 停戦への気運に逆行するな
 1958年10月25日 問題を持ち越した台北会談
 1958年11月21日 未帰国者消息調査への協力
 1959年 1月16日 日中貿易再開の機会をつかめ
 1959年 2月21日 高まる日中関係打開の機運
 1959年 3月 2日 [月曜論壇] 日中関係をめぐって（藤原弘達）
 1959年 3月 5日 社会党訪中使節団への期待
 1959年 3月17日 岐路に立った日中関係
 1959年 3月19日 決断をせまられた日中関係
 1959年 4月27日 [月曜論壇] 内政干渉と反抗心（花見達二）
 1959年 4月29日 劉少奇の主席就任に当って
 1959年 5月 4日 [月曜論壇] “一つの中国”を待望（植田捷雄）
 1959年 8月29日 日中正常化を急げ
 1959年 9月 3日 平和五原則を破るな
 1959年 9月 7日 [月曜論壇] 石橋氏の北京行を送る（山浦貫一）
 1959年 9月13日 安定へ向う中印問題
 1959年 9月22日 石橋氏の訪中成果
 1959年 9月27日 転機にたつ日中関係
 1959年12月 3日 今日の政治家の使命
 1960年 1月 7日 政争の中の日中問題
 1960年 2月 4日 自主外交を推進せよ
 1960年 3月10日 政争化する日中関係

| |
|--------|
| 12万部以上 |
|--------|

東奥日報

- 1957年 6月 4日 英国の中共禁輸緩和と日本
 1957年11月14日 日中貿易交渉に決断を望む

- 1957年11月19日 日中記者の交換を実現せよ
- 1958年2月5日 期待される日中郵便協定
- 1958年3月7日 期待される日中貿易協定の調印
- 1958年5月12日 すべてを政争と結びつけるな
- 1958年5月15日 日中問題と自社両党の態度
- 1958年6月14日 第二次岸内閣に望む
- 1958年7月15日 経済外交にも施策を
- 1958年8月29日 台湾海峡をめぐる対立と日本
- 1958年10月1日 低い姿勢の首相施政演説
- 1958年10月7日 停戦の糸口を逃がすな
- 1958年12月18日 毛沢東の理論指導強化へ
- 1958年12月24日 曇りなき目で注視を—中国における人民公社の発展—
- 1959年1月14日 日中貿易再開に努力を
- 1959年2月5日 日中関係の打開に望む
- 1959年2月23日 ウルシ輸入問題と日中貿易
- 1959年3月17日 岐路に立つ日中関係
- 1959年3月19日 成果なかった社会党使節団
- 1959年4月29日 中国の新陣容確立
- 1959年5月7日 火蓋を切る参院選挙
- 1959年5月23日 参院選挙選への疑問
- 1959年9月13日 良識の灯を消すな

山形新聞

- 1957年4月10日 中共使節団に望む
- 1957年4月24日 与野党二つの外交
- 1957年5月7日 野党に望むこと
- 1957年5月28日 台湾暴動の影響
- 1957年6月11日 首相の訪米に望む
- 1957年8月1日 経済外交の試金石
- 1957年8月23日 周発言と安保理事選挙
- 1957年8月24日 中共貿易に失望の各国
- 1957年8月28日 指紋は解決したが
- 1957年9月13日 外交とイニシアチブ
- 1957年10月15日 アジアの危機
- 1957年10月26日 手のうち読む中国商人
- 1957年10月31日 日中貿易の交渉
- 1957年11月6日 日中交渉の失敗
- 1957年11月16日 日中交渉を再開せよ
- 1957年11月21日 日中記者の交換を早く
- 1957年12月16日 指紋が好きなお役人
- 1957年12月25日 日中貿易交渉
- 1958年12月28日 日中両国の為に
- 1958年1月8日 日中記者の常駐を
- 1958年2月15日 鉄鋼使節団中国訪問へ
- 1958年2月17日 日中貿易協定に
- 1958年2月21日 アジア外交
- 1958年3月4日 日本外交の根底
- 1958年3月12日 外交に派閥なくせ
- 1958年4月7日 二つの中国と朝鮮
- 1958年4月23日 最悪事態の解散

1958年 5月14日 日中貿易を阻むもの
 1958年 5月16日 外交政策の争点
 1958年 6月23日 混迷する中共政策
 1958年 6月25日 兩岸の愚繰返すな
 1958年 6月28日 中共品と東南ア
 1958年 7月 2日 日中貿易指導権争い
 1958年 7月 9日 国会はこれでいいか
 1958年 7月19日 中共の東南ア進出
 1958年 8月20日 日中貿易熱
 1958年 9月 1日 佐多報告の意義
 1958年 9月15日 台湾問題と日本
 1958年 9月27日 外相帰国後の波紋
 1958年10月 1日 政界台風
 1958年12月22日 人民公社の問題
 1959年 1月 6日 外交の難問題
 1959年 1月15日 日中貿易の再開
 1959年 1月28日 野心的な藤山構想
 1959年 2月23日 漆輸出の問題
 1959年 2月25日 ウルシが描く波紋
 1959年 3月18日 日中問題の波紋
 1959年 3月21日 無意味でないが
 1959年 4月30日 考えていい若返り
 1959年 5月25日 選挙戦の疑問
 1959年 6月29日 華南の水害
 1959年 9月 1日 石橋訪中
 1959年 9月 6日 [日曜随想] 苦悩する中共（服部卓四郎）
 1959年11月 8日 [日曜随想] 奇怪な中共の態度（服部卓四郎）
 1959年12月18日 中国式稲作
 1960年 1月 4日 国際情勢
 1960年 1月 8日 池田発言
 1960年 1月23日 安保と中ソ
 1960年 1月27日 外交の ABC
 1960年 4月15日 スズメの実体

北日本新聞

1957年 3月30日 対米外交方針を確立せよ
 1957年 4月 6日 社会党使節団の中共訪問
 1957年 4月27日 日中貿易拡大の好機に当って
 1957年 6月 8日 日中貿易増大の好機が来た
 1957年 7月17日 中共禁輸緩和
 1957年11月 2日 日中貿易交渉と日中関係
 1958年 1月 4日 中国との懸案を解決せよ
 1958年 2月22日 日中貿易への期待
 1958年 3月10日 [日曜論談] 日中貿易の価値（高木友三郎）
 1958年 3月11日 日本外交のよろめき
 1958年 3月15日 外交と党略を混同するな
 1958年 4月12日 中国の納得に努力せよ
 1958年 5月10日 対中国了解工作进行を急げ
 1958年 6月 9日 [日曜論談] 日中関係悪化と貿易（高木友三郎）
 1958年 6月26日 当面の日中関係

1958年 6月28日 日米関係改善のために
 1958年 8月16日 対中国外交を確立せよ
 1958年 9月 3日 無定見な社会党の態度
 1958年10月 8日 台湾海峡の新段階
 1958年11月 5日 東南ア貿易はどうなった
 1958年11月24日 中共の五百石とり稲作
 1959年 1月 1日 新しい年に平和への祈り
 1959年 1月31日 日中関係の行詰り打開を
 1959年 2月27日 日中関係の行きづまりを打開せよ
 1959年 3月18日 周談話と日本政府
 1959年 9月 2日 中共の猛省を望む
 1959年 9月14日 [日曜論談] 中共の独走とソ連（高木友三郎）
 1960年 1月 1日 年頭の辞

静岡新聞（東京だより）

タイトルがついていないので内容を（ ）で示した
 1957年 3月21日 （中共の経済・農業状況：（堀毛一磨））
 1957年 4月 1日 （社党議員団の訪中：（大井篤））
 1957年 4月22日 （社会党議員団の訪中批判(1)：（原勝））
 1957年 4月23日 （社会党議員団の訪中批判(2)：（原勝））
 1957年 4月25日 （日本基督教代表使節団の訪中：（末包敏夫））
 1957年 4月26日 （社会党議員団の訪中：（堀毛一磨））
 1957年 4月30日 （社会党訪中批判その後：（大井篤））
 1957年 5月 4日 （社会党訪中と台湾問題：（高山岩男））
 1957年 5月25日 （整風運動：（堀毛一磨））
 1957年 6月 9日 （チンコム、中共貿易緩和の可能性(1)：（原勝））
 1957年 6月10日 （チンコム、中共貿易緩和の可能性(2)：（原勝））
 1957年 7月 3日 （整風運動・毛沢東論文：（高山岩男））
 1957年 7月 5日 （中共の状況・統計：（稲宮又吉））
 1957年 7月19日 （日中文化協会の容共性：（高山岩男））
 1957年 9月 3日 （旧軍人の中共訪問：（堀毛一磨））
 1957年10月 8日 （国慶節期の中共の状況：（末包敏夫））
 1958年 1月28日 （中共側の日中友好の政治性（堀毛一磨））
 1958年 2月24日 （二つの中国・二つの朝鮮の動向：（堀毛一磨））
 1958年 2月27日 （中共の北鮮撤退の背景：（高山岩男））
 1958年 3月 3日 （中共の北鮮撤退の政治的目的(1)：（原勝））
 1958年 3月 4日 （中共の北鮮撤退の政治的目的(2)：（原勝））
 1958年 3月 8日 （韓国、中共、ソ連の日本批判：（原勝））
 1958年 3月29日 （日中貿易協定への台湾の反発：（高山岩男））
 1958年 4月 8日 （日中貿易・日台貿易：（稲宮又吉））
 1958年 4月11日 （日中、日台間の国旗掲揚問題：（堀毛一磨））
 1958年 4月12日 （日中貿易協定をめぐる問題：（近藤泰一郎））
 1958年 4月15日 （日中貿易協定への台湾の反発：（高山岩男））
 1958年 4月18日 （日中貿易協定をめぐる中共の拒否：（近藤泰一郎））
 1958年 5月11日 （長崎国旗事件：（高山岩男））
 1958年 5月13日 （中共の日中経済断交宣言：（近藤泰一郎））
 1958年 5月15日 （中共の日中経済断交宣言：（稲宮又吉））
 1958年 5月20日 （中共の日本攻撃と社会党：（高山岩男））
 1958年 6月13日 （国会論議の焦点としての日中貿易問題：（近藤泰一郎））
 1958年 6月15日 （中共の言論・思想弾圧：（高山岩男））

- 1958年 6月25日 (赤城官房長官の「二つの中国」と現実：(松村秀逸))
1958年 7月21日 (中共の対日政策の現状：(堀毛一磨))
1958年 8月18日 (社会党議員の中共訪問：(高山岩男))
1958年 8月29日 (中共の金門島攻撃：(近藤泰一郎))
1958年 9月 1日 (佐多社会党議員の中共訪問・報告：(原勝))
1958年 9月 5日 (佐多社会党議員の中共訪問・報告 続き：(原勝))
1958年 9月 7日 (中共の金門島攻撃：(堀毛一磨))
1958年 9月 8日 (佐多社会党議員の中共訪問・報告：(高山岩男))
1958年 9月10日 (中共の金門島攻撃：(大井篤))
1958年 9月15日 (中共の対外強硬姿勢とその背景：(堀毛一磨))
1958年 9月19日 (台湾海峡問題と米中会談：(原勝))
1958年10月 7日 (金門島の問題：(近藤泰一郎))
1958年10月10日 (中共の金門島攻撃とその背景：(大井篤))
1958年10月16日 (共産国の経済スローガン：(堀毛一磨))
1958年10月27日 (中共との貿易：(稲宮又吉))
1958年11月24日 (日米安保に関する陳毅声明：(高山岩男))
1958年11月28日 (金門島攻撃と心理戦：(堀毛一磨))
1958年12月26日 (毛沢東辞任と人民公社問題：(原勝))
1959年 1月20日 (人民公社：(高山岩男))
1959年 1月26日 (日中関係と社会党：(近藤泰一郎))
1959年 2月 2日 (外交問題における二重外交：(近藤泰一郎))
1959年 3月 3日 (河野一郎, 社会党の中共問題打開の動き 上：(原勝))
1959年 3月 4日 (河野一郎, 社会党の中共問題打開の動き 下：(原勝))
1959年 3月 7日 (台湾海峡問題の現況：(松村秀逸))
1959年 3月 8日 (社会党議員の中共訪問：(大井篤))
1959年 3月13日 (社会党知事選連敗の原因：(高山岩男))
1959年 3月14日 (浅沼・社会党議員団の訪中：(近藤泰一郎))
1959年 3月19日 (社会党議員団の訪中・人民公社：(大井篤))
1959年 3月22日 (浅沼・社会党議員団の訪中問題：(堀毛一磨))
1959年 3月23日 (浅沼・社会党議員団の訪中問題, 特に共同声明：(高山岩男))
1959年 4月 1日 (チベットの反乱：(高山岩男))
1959年 4月 3日 (日中関係改善の場合の未来図：(近藤泰一郎))
1959年 4月 6日 (中共貿易行き詰まりとその背景：(近藤泰一郎))
1959年 4月 9日 (中共の現況への報道の問題：(堀毛一磨))
1959年 4月24日 (日本国内における日中親善論への疑問：(大井篤))
1959年 4月27日 (中共の予算。国民経済計画発表：(稲宮又吉))
1959年 5月 3日 (劉少奇主席の登場：(堀毛一磨))
1959年 5月14日 (チベット動乱と中共の制圧：(堀毛一磨))
1959年 7月28日 (日本における安保条約反対と中共：(堀毛一磨))
1959年 8月16日 (中共の沈黙とその背景・国内問題：(堀毛一磨))
1959年 9月 2日 (石橋湛山氏の中共訪問：(高山岩男))
1959年 9月 3日 (中印関係・中共の軍事的侵略：(大井篤))
1959年 9月 9日 (石橋湛山氏の中共訪問：(大井篤))
1959年 9月11日 (石橋前首相の中共訪問：(近藤泰一郎))
1959年 9月13日 (軍国的な中共の内政困難と本質：(堀毛一磨))
1959年 9月22日 (中共・アジア諸国間の関係変化：(近藤泰一郎))
1959年 9月27日 (石橋・周共同声明について：(原勝))
1959年 9月29日 (石橋・周共同声明の問題：(高山岩男))
1959年10月 1日 (石橋訪中・声明への批判：(大井篤))
1959年10月10日 (石橋訪中について：(堀毛一磨))

- 1959年10月25日 （松村謙三氏の訪中：（堀毛一磨））
- 1959年11月3日 （フルシチョフの訪中と中共：（堀毛一磨））
- 1959年11月23日 （アメリカにおける対中共報告：（堀毛一磨））
- 1959年12月11日 （フルシチョフと中共の関係：（堀毛一磨））
- 1959年12月16日 （松村氏の訪中・民族主義批判：（高山岩男））
- 1959年12月23日 （松村訪中と中共の実態：（近藤泰一郎））
- 1960年1月7日 （1960年の外交課題としての中共接近への疑問：（大井篤））
- 1960年1月13日 （日中国交の是非，問題：（堀毛一磨））
- 1960年1月14日 （日中国交の是非，問題：（近藤泰一郎））
- 1960年1月22日 （中共の日米安保批判：（堀毛一磨））
- 1960年1月31日 （中共の状況・第2次五カ年計画：（稲宮又吉））
- 1960年2月16日 （中共，北鮮との関係改善：（近藤泰一郎））
- 1960年3月5日 （自民党内の日中国交推進への批判：（大井篤））
- 1960年3月7日 （自民党内の安保批判，中ソ融和への批判：（近藤泰一郎））
- 1960年3月10日 （アメリカ内の中共承認論：（堀毛一磨））
- 1960年3月21日 （自民党・社会党内の安保批判，中ソ融和への批判(1)：（原勝））
- 1960年3月22日 （自民党・社会党内の安保批判，中ソ融和への批判(2)：（原勝））
- 1960年3月26日 （中ソの温度差：（堀毛一磨））
- 1960年7月9日 （ソ連，中共の対日工作：（高山岩男））

高知新聞

- 1957年4月13日 アイクの中共貿易緩和言明
- 1957年4月25日 希望図的な社党・中共の声明
- 1957年5月30日 チンコム会議と日本の立場
- 1957年6月16日 岸訪米への注文
- 1957年6月22日 注目すべき中共の整風運動
- 1957年6月23日 岸訪米の成果と共同声明
- 1957年7月8日 チンコムは緩和されたが
- 1957年8月2日 周首相の岸非難
- 1957年8月21日 逃げ腰の中共対策
- 1957年8月27日 米記者の中共派遣
- 1957年10月30日 日中交渉の中断
- 1958年1月4日 バスに乗り遅れぬために 日中貿易の現実的処理を急げ
- 1958年2月1日 中共見本市始まる
- 1958年2月10日 日中間の無知と偏見を排せよ
- 1958年2月13日 中国人民代表大会終る
- 1958年2月21日 中国，北鮮の共同声明
- 1958年2月27日 日中鉄鋼貿易協定の締結
- 1958年3月6日 日中貿易協定の調印
- 1958年3月21日 偏狭な国府の態度
- 1958年4月11日 中共貿易の後退を憂える
- 1958年5月10日 納得できぬ中共の漁船拿捕
- 1958年5月12日 中共の経済断交
- 1958年5月13日 社会党の「日中関係」声明
- 1958年6月14日 日中漁業協定失効
- 1958年7月7日 顔みせの訪米外交は意味がない
- 1958年8月8日 日中関係正常化の本筋
- 1958年8月16日 ココムの禁輸緩和
- 1958年8月26日 緊張を加える台湾海峡
- 1958年8月31日 日中問題と佐多報告書

1958年 9 月 7 日 台湾問題のダレス声明
 1958年 9 月 9 日 米中会談の機運
 1958年 9 月11日 台湾問題のフ書簡
 1958年 9 月18日 国連総会の開会に当たって
 1958年 9 月20日 藤山外相の国連演説
 1958年 9 月25日 「中共加盟」見送りと日本の立場
 1958年10月 7 日 恒久平和へのチャンスを見逃すな
 1958年10月15日 中共の砲撃停止延長
 1958年10月24日 逆に説教されたダレス長官
 1958年12月 7 日 中共ダンピングに備えよ
 1959年 1 月18日 日中貿易再開の機運
 1959年 2 月20日 周構想をこうみる
 1959年 3 月 3 日 社会党の中共訪問使節団に望む
 1959年 3 月18日 冷厳な中共の対日態度
 1959年 3 月19日 社会党の中共訪問の成果
 1959年 3 月30日 社会党はもっと足元を見よ
 1959年 4 月29日 劉少奇主席の選任
 1959年 5 月 8 日 中共の経済計画と日中貿易
 1959年 8 月30日 石橋氏の訪中に期待する
 1959年 9 月22日 石橋・周共同声明の意義
 1959年 9 月27日 石橋氏の帰国を迎えて
 1959年11月13日 中印紛争解決への周提案
 1960年 1 月 7 日 「池田発言」の真意をたずぬ
 1960年 2 月 3 日 善隣外交の筋道を通せ
 1960年 2 月 7 日 日中問題と真剣に取り組め
 1960年 2 月17日 フ首相東南ア歴訪の意義
 1960年 3 月13日 与党内の岸政治批判
 1960年 4 月13日 周演説をどう受け取るべきか
 1960年 6 月10日 米上院の安保審議

夕刊フクニチ（～1959年 4 月）

※1958年10月まで [筆の塵]，1958年11月以降 [東風西風]

1957年 5 月29日 アジアの“気持ち”
 1957年 6 月17日 指紋が起こす波紋
 1957年 7 月18日 “指紋”も緩和せよ
 1957年 9 月17日 藤山さんと“必要悪”
 1958年 2 月10日 見本市のヘマ
 1958年 2 月12日 軌道にのる日中貿易
 1958年 3 月25日 台湾のヒステリー
 1958年 4 月15日 心なき発言
 1958年 5 月28日 “アジアは一つ”か
 1958年 6 月 6 日 非を認める勇氣
 1958年 7 月 8 日 中共へのかけ橋
 1958年 7 月12日 ソッポ向く中共選手
 1958年 7 月22日 「静観」を追放せよ
 1958年 8 月 4 日 是々非々外交
 1958年 8 月27日 波さわぐ台湾海峡
 1958年 9 月 1 日 外相の肩の荷
 1958年 9 月 5 日 台風と東シナ海
 1958年 9 月 8 日 海の無法時代

- 1958年 9月12日 北京からの招待
- 1958年 9月20日 敵視政策の正体
- 1958年 9月27日 八十歳の外交論
- 1958年10月10日 七日間の平和
- 1958年10月15日 中国の超豊作
- 1958年10月30日 追われる日本商品
- 1958年11月18日 追いつけ、追いこせ
- 1958年11月25日 “張り子のトラ”
- 1958年12月16日 “毛沢東主席” 引退説
- 1959年 1月24日 宋姉妹と中国
- 1959年 3月 1日 中国の「肥料集め」
- 1959年 3月19日 ・メられた社会党（・は「ナ」と推測できるが判読不能）
- 1959年 3月26日 チベットの反乱
- 1959年 4月 9日 二人のラマ

フクニチ（夕刊フクニチを改称）〔東風西風〕

- 1959年 5月15日 ソ連観と中国観
- 1959年 8月13日 気負いたつ岸さん
- 1959年 8月29日 石橋さんの訪中
- 1959年 8月31日 中共の“つまずき”
- 1959年 9月17日 二人の活仏の命運
- 1959年 9月22日 岸退陣への一因
- 1959年11月26日 毛沢東とドゴール
- 1960年 1月11日 北進論と南進論
- 1960年 1月15日 兄弟分のサカズキ
- 1960年 3月 4日 チャンスを生かせ
- 1960年 7月 4日 中国の文字革命

長崎民友新聞

- 1958年 2月19日 「中共」の呼称を止めよう／長崎にも日中輸出入組合事務所を
- 1958年 3月 9日 外交だけでもよろめくな
- 1958年 4月19日 中華人民共和国の再考を望む
- 1958年 4月27日 国旗掲揚の民間運動を起してはどうか
- 1958年 5月 9日 東シナ海での漁船の捕獲
- 1958年 5月14日 再び中国の国旗に関連して
- 1958年 5月25日 第二次岸内閣にのぞむ
- 1958年 6月24日 傾聴させた黒田氏の質問演説
- 1958年 8月14日 日中漁業問題を口火に対中国接近は考えられないか
- 1958年 8月24日 早まったか二大政党
- 1958年 9月10日 藤山外相の態度に支持をあたえる
- 1958年 9月22日 中国代表権問題と日本外交
- 1958年12月 5日 心配な外交問題

長崎日日新聞（〔一日一言〕は全て市川謙一郎の執筆（長崎新聞も同様））

- 1957年 4月17日 社党使節団と周首相の発言
- 1957年 4月21日 与野党二つの外交路線
- 1957年 4月29日 社党に真剣な国会闘争を望む
- 1957年 6月 1日 対中共禁輸と英国の新措置
- 1957年 6月20日 毛沢東演説の意味するもの
- 1957年12月 6日 日中関係と李徳全氏の訪日

| | | |
|-------------|---------------|-----------|
| 1957年12月27日 | 日中友好と記者交換 | |
| 1958年2月15日 | 中共貿易で遅れをとるな | |
| 1958年2月28日 | 日中鉄鋼協定調印の意義 | |
| 1958年3月7日 | 日中貿易協定調印の意義 | |
| 1958年3月11日 | 外交に派閥感情を持ちこむな | |
| 1958年5月8日 | 〔一日一言〕中国国旗事件 | 忘れっぽい日本人 |
| 1958年6月17日 | 〔一日一言〕中共の皆さん | これでよいのですか |
| 1958年6月24日 | 〔一日一言〕旗はどうする | 政府静観への不安 |
| 1958年8月26日 | 〔一日一言〕極東の危機感 | 金門島砲撃について |
| 1958年9月23日 | 〔一日一言〕騒がしき言葉 | 極東の危機について |

長崎新聞（1959年長崎民友新聞と長崎日日新聞が合併・再統合）

| | | |
|------------|---------------|------------|
| 1959年1月30日 | 〔一日一言〕岸首相の算盤 | 日中貿易は結構だが |
| 1959年3月11日 | 〔一日一言〕悲願を棄てて | 「二つの国家」に賛成 |
| 1959年3月19日 | 〔一日一言〕出来ない相談 | 共同声明を読んで |
| 1959年3月25日 | 〔一日一言〕人民公社の裏 | 失われた人間の尊厳 |
| 1959年4月7日 | 〔一日一言〕獵師は撃たず | チベットとインド |
| 1959年9月8日 | 〔一日一言〕石橋老の門出 | どんな期待があるか |
| 1959年9月22日 | 〔一日一言〕出来ない相談 | 石橋老の共同声明 |
| 1959年10月2日 | 〔放射能〕頑固さを嫌悪する | |
| 1960年1月13日 | 〔一日一言〕中共との調整 | 本気で取り組み |
| 1960年1月28日 | 〔一日一言〕日中救助協定 | なぜ政府自らやらぬ |

大分合同新聞

| | |
|-------------|--------------|
| 1957年4月24日 | 日中国交回復と共同声明 |
| 1957年6月3日 | 対中共貿易に新局面を |
| 1957年6月14日 | 岸首相の訪米に要望する |
| 1957年6月16日 | 岸首相の渡米に当って |
| 1957年6月23日 | 期待にはずれた共同声明 |
| 1957年7月12日 | 藤山経済外交に望む |
| 1957年8月1日 | 中共外交に熱意があるのか |
| 1957年11月14日 | 日中貿易交渉の再開を急げ |
| 1958年1月30日 | 具体性に欠ける政府演説 |
| 1958年2月9日 | 比重を増した中共の市場 |
| 1958年3月6日 | 新段階に入った日中貿易 |
| 1958年3月31日 | 総選挙にのぞむ政策を示せ |
| 1958年4月15日 | 日中貿易打開に条理を尽せ |
| 1958年5月10日 | 日中関係の悪化を憂う |
| 1958年5月15日 | 中共問題は慎重に論議せよ |
| 1958年5月25日 | 表示された国民の意思 |
| 1958年5月28日 | 日中関係打開への努力を |
| 1958年6月18日 | 岸首相の施政方針演説 |
| 1958年6月21日 | 対中共関係打開に前進せよ |
| 1958年7月8日 | 確固たる外交方針をたてよ |
| 1958年8月3日 | 輸出振興と外交政策 |
| 1958年8月16日 | ココムの緩和と日中貿易 |
| 1958年8月27日 | 台湾の危機拡大を恐れる |
| 1958年9月1日 | 中共の対日要求に対処せよ |
| 1958年9月25日 | 中共の国連加盟は現実論 |
| 1958年10月3日 | 本格的国会審議に望む |

| | |
|-------------|---------------|
| 1958年10月25日 | 台湾海峡の平和解決を望む |
| 1959年1月14日 | 日中貿易再開に努力せよ |
| 1959年1月30日 | 県産漆器の危機と日中貿易 |
| 1959年3月19日 | 閉ざされた日中貿易再開の道 |
| 1959年4月30日 | 中共の主席更迭を善用せよ |
| 1959年5月7日 | 重大な意義を持つ参議選 |
| 1959年6月5日 | 反省を要する参議選の結果 |
| 1959年7月17日 | 共同コミュニケを読んで |
| 1959年8月17日 | 中共稲作が示唆するもの |
| 1959年9月7日 | 石橋氏の中共訪問に望む |
| 1959年9月21日 | 石橋・周共同声明をみて |
| 1959年9月28日 | 石橋氏の首相説得に注目 |
| 1960年1月11日 | 日中問題を党略に利用するな |

第2部：日韓関係・朝鮮問題をめぐる社説・論説

50万部以上

北海道新聞

| | |
|-------------|------------------|
| 1957年4月17日 | 日本と朝鮮 |
| 1957年6月19日 | 日韓交渉に望む |
| 1957年12月31日 | 日韓妥結と今後 |
| 1958年3月2日 | 八方ふさがりの岸外交 |
| 1958年4月17日 | 日本と朝鮮 |
| 1958年5月5日 | 韓国総選挙の意味 |
| 1958年7月8日 | 岸外交でよいのか |
| 1958年12月1日 | 日本と韓国と朝鮮 |
| 1959年2月1日 | 朝鮮人帰国問題の進展を喜ぶ |
| 1959年2月14日 | 北鮮帰還方針をあくまで貫け |
| 1959年3月3日 | 北鮮帰還を促進するために |
| 1959年3月8日 | 北鮮の政府・赤十字に訴える |
| 1959年3月15日 | 味わうべき国際委員会声明 |
| 1959年4月19日 | 北鮮帰還問題の打開を望む |
| 1959年5月29日 | 日鮮会談は互譲の精神で |
| 1959年6月4日 | 韓国の反省を促す |
| 1959年6月6日 | 日鮮会談は日赤の責任で行え |
| 1959年6月12日 | 日鮮会談の実質的妥結を喜ぶ |
| 1959年6月14日 | 抑留漁船員の救出 |
| 1959年6月17日 | 筋の通らぬ韓国の貿易断絶 |
| 1959年7月5日 | 北朝鮮帰還を急げ |
| 1959年7月9日 | 北朝鮮帰還の前途を憂える |
| 1959年7月28日 | 李ライン紛争と政府の態度 |
| 1959年8月1日 | 日韓会談には自主的態度で臨め |
| 1959年8月8日 | 北朝鮮帰還への大きな前進 |
| 1959年8月13日 | 日韓会談の再開にのぞむ |
| 1959年9月24日 | 日赤と朝鮮人諸君の話し合いを望む |
| 1959年10月14日 | 北朝鮮帰還で無理押しは避けよ |
| 1959年12月14日 | 北朝鮮帰還第一号船をおくる |
| 1960年3月9日 | 日韓関係の基調自体を再検討せよ |
| 1960年3月17日 | 李大統領の四選 |

1960年 3月20日 日韓交渉の一步前進を喜ぶ
 1960年 3月30日 日韓貿易を再開するに当たって
 1960年 4月21日 韓国暴動の根本原因は何か
 1960年 4月24日 韓国民衆の勝利
 1960年 4月27日 李大統領の辞意
 1960年 5月 8日 対韓外交を暴走させるな
 1960年 7月 8日 日韓漁業関係の緊張緩和を望む

東京新聞

1957年12月30日 日韓相互釈放の合意成る
 1958年 2月 2日 抑留漁夫の帰還
 1958年 2月19日 外交的行詰まりをどうするか
 1958年 2月21日 撤兵と中共の新和平攻勢
 1958年 3月 2日 韓国側の猛省を促す
 1958年 4月13日 日韓全面会談再開に望む
 1958年 5月 4日 韓国総選挙の結果からみて
 1958年 6月27日 日韓交渉への疑念
 1958年 7月 9日 韓国の誠意いずれにありや
 1958年 8月26日 日韓会談への反省
 1958年11月18日 行詰まる日韓会談
 1958年11月30日 再び韓国に望む
 1959年 2月 1日 北鮮帰国と日韓会談は別だ
 1959年 2月10日 外相独走の感なきや
 1959年 2月14日 日韓関係処理は慎重に
 1959年 3月 5日 赤十字国際委の決意を希望
 1959年 3月10日 不合理きわまる北鮮の態度
 1959年 3月18日 自由意志の確認
 1959年 4月15日 まず国際委の介入を認めよ
 1959年 4月27日 国際委の実質的介入を認めよ
 1959年 5月23日 恩をアダで返す韓国
 1959年 6月 7日 譲歩の限度に來た日本
 1959年 6月12日 日鮮交渉は妥結したが
 1959年 6月17日 自業自得の韓国
 1959年 7月10日 理解を深めよ
 1959年 7月31日 日韓会談の再開を歓迎する
 1959年 8月 6日 日朝協定の調印
 1959年 8月23日 捕獲船を即時釈放せよ
 1959年 9月23日 帰還業務を円滑にするために
 1959年10月17日 帰還協定を素直に受け取れ
 1959年10月30日 跡をにごさない「帰還」へ
 1959年12月10日 北朝鮮帰還の円滑な実施を
 1960年 2月18日 韓国に誠意の保証を要求する
 1960年 2月21日 韓国米買い付けに異議あり
 1960年 2月27日 曲がり角にきた日韓会談
 1960年 3月10日 抑留者釈放決議はどうしたか
 1960年 3月17日 韓国の新政局
 1960年 3月20日 日韓会談の今後に望む
 1960年 4月21日 “隣国” 韓国の暴動を憂える
 1960年 4月24日 李大統領の退陣
 1960年 4月27日 追いつめられた李承晩政権

1960年 4月29日 許政声明を歓迎する
1960年 5月 4日 抑留船員の釈放
1960年 5月11日 現実無視の許政声明

中部日本新聞

1957年 4月25日 日韓和解の機会を逃がすな
1957年 6月13日 相互釈放から日韓の和解へ
1957年 6月18日 李大統領に重ねて訴える
1957年12月31日 日韓抑留者問題の妥結
1958年 1月 8日 日韓双方の自重を
1958年 3月 1日 韓国政府に誠意を期待する
1958年 4月11日 日韓正式会談を急げ
1958年 4月17日 まず抑留漁夫を全員送還せよ
1958年 5月 8日 日韓会談の前進
1958年 7月 9日 日韓会談はこれでよいか
1958年 8月20日 日韓漁業委員会に望む
1958年 8月28日 日韓会談を開く前提条件
1958年 9月 4日 再び韓国側に訴う
1958年11月15日 対韓交渉の再検討を
1958年11月30日 日韓交渉の方向を誤るな
1958年12月15日 自民党の内紛と外交の不安
1958年12月17日 日韓会談の中断期間を生かせ
1959年 1月22日 中絶した日韓会談
1959年 2月 1日 北鮮帰国は人道問題だ
1959年 2月13日 韓国側の再考を切望する
1959年 2月15日 国際赤十字に期待する
1959年 3月 6日 韓国政府の再考を求める
1959年 3月 8日 北鮮赤十字の再考を望む
1959年 3月15日 赤十字国際委に訴える
1959年 4月15日 北鮮赤十字の理解を期待する
1959年 4月26日 北鮮側にもう一步の譲歩を
1959年 5月23日 韓国の反省を求む
1959年 5月27日 北鮮の再考を促す
1959年 6月 6日 北鮮はわが誠意を曲解するな
1959年 6月12日 北鮮帰還交渉の妥結に当たって
1959年 6月17日 韓国の対日貿易断絶
1959年 7月 9日 赤十字国際委に決断を望む
1959年 7月14日 在日朝鮮人に自重を
1959年 7月19日 黙視できない抑留漁船員問題
1959年 7月31日 日韓会談再開を再開する前提
1959年 8月 8日 日韓会談の再開
1959年 8月13日 帰還業務の早期実現を
1959年 8月23日 韓国に抗議する
1959年 9月20日 北朝鮮帰還の受付
1959年 9月23日 遺憾な帰国申請の拒否
1959年 9月27日 本末転倒の韓国抗議
1959年10月11日 北朝鮮への帰還業務に協力を
1959年10月14日 日韓会談を軌道にのせよ
1959年11月 6日 再び韓国政府に訴う
1959年12月 6日 こんどこそ抑留漁船員の送還を

1959年12月10日 北朝鮮帰還を平穩に
 1959年12月13日 再び韓国の良識に訴える
 1960年 2月16日 対韓強硬策に出よ
 1960年 2月21日 無定見な韓国米輸入
 1960年 3月12日 相互送還は必ず実施せよ
 1960年 3月17日 李大統領四選に思う
 1960年 3月20日 日韓相互送還の決定と今後
 1960年 4月 5日 日韓懸案の全面的な解決策
 1960年 4月21日 見過ごせない韓国の社会不安
 1960年 4月26日 韓国民主化は可能か
 1960年 4月27日 李韓国大統領の退陣
 1960年 4月29日 日韓正常化の好機を逃がすな
 1960年 5月 7日 対韓国交調整に乗り出せ
 1960年 6月26日 遺憾な漁船捕獲
 1960年 7月 9日 韓国政府に切望する

西日本新聞

1957年 4月20日 日韓の相互釈放に踏み切れ
 1957年 5月 2日 韓国の歩み寄りを期待する
 1957年 6月11日 相互釈放への期待を裏切るな
 1957年 6月18日 韓国の善処を希望する
 1957年12月31日 日韓相互釈放の実現を喜ぶ
 1958年 2月 2日 第一次の帰国船員を迎えて
 1958年 3月 2日 日韓はもっと率直に話合え
 1958年 4月12日 日韓会談が再開されたとしても
 1958年 5月15日 日韓会談の再開による初の成果
 1958年 7月10日 やむをえぬ北鮮帰国者の釈放
 1958年 8月20日 李ライン問題で実質的討議を
 1958年 9月23日 日韓会談に望む現実的な態度
 1958年10月28日 日韓漁業問題の現実的解決を
 1958年11月22日 日韓相互釈放だけでも実現を
 1958年11月30日 妥当な李ライン解決日本案
 1959年 1月22日 日韓会談の再開は時機を待て
 1959年 2月 3日 北鮮送還を実現するために
 1959年 2月 8日 日韓会談の決裂を避けよ
 1959年 2月14日 北鮮帰還で方針を貫け
 1959年 2月28日 赤十字国際委に訴える
 1959年 3月 8日 帰国を遅らせる北鮮の態度
 1959年 4月 8日 船員釈放問題の早期解決を
 1959年 4月19日 北鮮帰還問題解決へのカギ
 1959年 4月26日 大きく前進した北鮮帰還交渉
 1959年 5月28日 北鮮側の強硬態度は遺憾だ
 1959年 6月 6日 心配な日韓漁業紛争の激化
 1959年 6月12日 北鮮帰還の円満実施を望む
 1959年 7月 1日 国際委の速やかな承認を望む
 1959年 7月10日 国際委の速やかな承認を
 1959年 7月16日 国際委の発言にも自重を望む
 1959年 8月 1日 こんどこそ日韓紛争の解決を
 1959年 8月 8日 帰還協定の調印と日韓交渉
 1959年 8月12日 日韓会談を前進させるために

1959年 8月13日 赤十字国際委の声明を喜ぶ
 1959年 8月15日 北朝鮮帰還協定の公正な実施を
 1959年 9月 2日 安全操業を確約できぬか
 1959年 9月 5日 妥当な日赤の北朝鮮帰還表明
 1959年 9月23日 一方的な感じの帰還申請拒否
 1959年10月15日 まず帰還第一船の配船を
 1959年10月22日 帰還実現のためギリギリの線
 1959年11月 4日 帰還協定の精神を忘れるな
 1959年12月11日 待ちに待った日韓相互送還
 1960年 2月17日 日韓問題の当面の解決策
 1960年 3月 9日 対韓強硬外交だけでよいか
 1960年 3月16日 海洋法国際会議と李ライン
 1960年 3月18日 李氏四選と日韓交渉の転機
 1960年 3月20日 相互送還のための新解決策
 1960年 4月21日 韓国政治の民主化を期待する
 1960年 4月24日 急転回した韓国政治情勢
 1960年 4月27日 韓国暴動を収拾する道
 1960年 5月 4日 「李ライン解決」の言明を喜ぶ
 1960年 5月13日 韓国の対日外交に自重を望む
 1960年 7月 9日 李ライン出漁に自粛を望む

30万部以上

京都新聞

1957年 4月26日 日韓折衝に望む
 1957年 5月 2日 日韓交渉再開について
 1957年 6月18日 日韓交渉の成否について
 1958年11月18日 日韓交渉に確固たる交渉を
 1959年 2月12日 北鮮送還を必ず実施せよ
 1959年 2月14日 既定方針で北鮮送還に当れ
 1959年 3月11日 北鮮赤十字社へ要望する
 1959年 3月17日 北鮮側の柔軟な出方を望む
 1959年 5月29日 日鮮交渉を決裂させるな
 1959年 6月 6日 心外な北鮮側の強硬態度
 1959年 6月12日 日鮮会談の妥結を喜ぶ
 1959年 7月 8日 日赤代表に一段の努力を望む
 1959年 8月 2日 責任を明確にして外交に当れ
 1959年 8月13日 韓国の良識と善意に期待
 1959年 8月22日 日韓の紛糾を回避せよ
 1959年10月18日 帰還方法の緩和に賛成
 1959年11月12日 韓国は釈放の約を果たせ
 1960年 2月21日 韓国米の輸入は慎重に
 1960年 3月12日 対韓外交の腰を固めよ
 1960年 3月17日 海洋法会議を注視する
 1960年 3月18日 米国に積極的仲介を望む
 1960年 4月 1日 まず韓国に代表部を
 1960年 4月 6日 前途けわしい日韓会談
 1960年 4月15日 韓国の政情
 1960年 4月21日 韓国は自ら非を改めよ
 1960年 4月25日 韓国民の冷静を要望する

1960年 4 月27日 再び韓国民の自重を望む
 1960年 4 月30日 新生韓国に期待する
 1960年 5 月 4 日 日韓外交を正常化せよ
 1960年 5 月11日 領土問題にも目をむけよ
 1960年 7 月 1 日 許しがたい韓国の態度
 1960年 7 月 9 日 韓国側の反省を求める

大阪新聞

1957年 4 月27日 相互釈放と李ライン
 1957年12月23日 抑留者ついに帰らず
 1958年 4 月17日 日韓会談に望む
 1959年 2 月 2 日 日韓会談と北鮮送還
 1959年 3 月23日 抑留漁夫問題の解明
 1959年 4 月19日 北鮮帰還の問題点
 1959年 6 月12日 北鮮帰還今後の課題
 1959年 6 月17日 韓国の良識を求める
 1959年 8 月 1 日 日韓関係打開の好機
 1959年 9 月22日 つまずいた帰還申請
 1959年11月 6 日 順調な帰還業務の再開

神戸新聞

1957年 6 月13日 日韓融和の道と金素雲氏
 1957年 6 月26日 遺憾なる休戦協定の無視
 1957年10月22日 引揚げの陰にあるもの
 1957年11月29日 こんな朝鮮人の例もある
 1958年 2 月20日 撤兵と共産陣営の意図
 1958年 3 月 1 日 漁夫の送還を完了せよ
 1958年 5 月 8 日 昔日の面影なき李大統領
 1959年 2 月 3 日 朝鮮人の帰国の問題
 1959年 2 月11日 韓国の対日強硬態度
 1959年 3 月12日 北鮮に柔軟な態度を望む
 1959年 6 月 1 日 日鮮会談再開に望むもの
 1959年 6 月12日 日鮮会談の妥結に際して
 1959年 6 月27日 日韓関係はこれでよいか
 1959年 7 月10日 北朝鮮帰還問題の解決を
 1959年 8 月 9 日 北朝鮮帰還を円滑に
 1959年 8 月12日 日韓会談再開をひかえて
 1959年 9 月20日 帰還案内の善処を望む
 1959年10月31日 北朝鮮帰国を推進しよう
 1960年 3 月18日 国際常識で李ライン打開
 1960年 4 月16日 日韓会談の再開を迎えて
 1960年 4 月21日 政情転換促す韓国の暴動
 1960年 4 月24日 韓国の新出発を喜ぶ
 1960年 4 月27日 ついに李承晩時代去る

中国新聞

1957年 6 月14日 日韓関係の好転
 1957年 6 月25日 ルールなき韓国側外交
 1958年 1 月 8 日 日韓交渉に望む
 1958年 2 月 2 日 抑留漁夫の帰還

- 1958年3月1日 抑留漁夫送還と日韓会談
1958年5月7日 転機に立つ韓国政治
1958年10月3日 保護水域で解決を図れ
1958年11月29日 日韓交渉をどう進めるか
1958年12月2日 「平和ライン」の調整
1959年1月23日 政局の混迷と外交問題
1959年2月1日 北鮮帰国問題は国民外交で
1959年2月11日 不可解な「柳声明」
1959年2月14日 不幸な対立
1959年2月17日 正しさを貫こう
1959年2月28日 赤十字国際委の勇断を望む
1959年3月10日 不可解な北鮮側の態度
1959年3月19日 日本人漁船員の釈放を急げ
1959年3月25日 北鮮帰還問題の行方
1959年3月28日 抑留者と自由
1959年4月3日 日韓会談再開と抑留者
1959年4月8日 日韓会談の前提
1959年4月15日 北鮮側に望むもの
1959年4月22日 帰還問題の明暗
1959年4月28日 国際委の介入程度
1959年5月22日 不法な韓国の態度
1959年6月12日 日鮮会談の妥結
1959年6月13日 アジアの問題
1959年7月19日 韓国抑留漁船員のデモ事件
1959年8月13日 帰還問題の妥結
1959年8月14日 明朗性を欠く韓国
1959年8月21日 自衛船出動に際して
1959年8月23日 李ライン問題は国連へ
1959年8月25日 帰還に最善の努力を
1959年9月1日 法的地位委の性格
1959年10月21日 帰還問題の前進
1959年12月20日 日韓冷戦の調停役
1959年12月25日 雪どけと隣邦
1960年2月14日 日韓紛争問題を国連へ
1960年2月17日 沈没事件の責任
1960年2月24日 日韓関係の進展
1960年3月1日 日本の領土問題
1960年3月11日 共同行動と外交交渉
1960年3月20日 日韓関係の前途
1960年3月23日 李承晩氏の真意
1960年4月15日 政治と思想の相関性
1960年4月21日 不幸な韓国流血事件
1960年4月22日 韓国の反省と責任
1960年4月28日 韓国政変の推移
1960年4月29日 民族の悲劇繰り返すな
1960年5月3日 李ライン撤廃への希望
1960年5月11日 韓国の憲法改正案
1960年5月12日 韓国暫定政府の限度

20万部以上

北海タイムス

- 1957年 4 月20日 韓国側の真意を見とどけよ
- 1957年 6 月15日 なお前途多難な日韓関係
- 1958年 2 月20日 宣伝戦から世界平和はこない
- 1958年 6 月29日 日韓交渉が進まぬ原因は何か
- 1959年 2 月 4 日 北鮮帰国問題と日韓会談
- 1959年 2 月14日 北鮮帰還の既定方針を貫く努力
- 1959年 2 月15日 李承晩の悲劇と日韓の友好
- 1959年 3 月 1 日 北鮮帰還問題を複雑化にするな
- 1959年 3 月30日 人道問題としてのスジを再検討
- 1959年 5 月11日 “朝鮮人帰還”をこじらすな
- 1959年 8 月 1 日 危機回避と懸案解決のチャンス
- 1959年 9 月 5 日 北朝鮮帰還に人道主義の花束を
- 1959年10月23日 二つの送還に人道的配慮を
- 1960年 2 月17日 韓国政府の反省をもとめる
- 1960年 3 月11日 領海の取り決めと日本の立場
- 1960年 3 月24日 軌道に乗るか今後の日韓関係
- 1960年 4 月22日 自由擁護の精神は健在か
- 1960年 4 月26日 李大統領に反省があるか
- 1960年 4 月27日 韓国の静かな民主化を望む
- 1960年 5 月 7 日 李承晩ラインとは何か
- 1960年 5 月11日 北朝鮮送還中止は不可能

河北新報

- 1958年 1 月 6 日 日韓会談に対処する態度
- 1958年11月20日 難関に当面にした日韓会談
- 1959年 2 月 2 日 外交路線の混乱
- 1959年 2 月 8 日 北鮮送還を支持する
- 1959年 3 月 9 日 あくまで人道的立場で
- 1959年 4 月12日 人道主義の強さ
- 1959年 5 月 8 日 北鮮送還を促す道
- 1959年 6 月12日 日鮮会談の妥結
- 1959年 8 月 2 日 楽観できぬ日韓会談
- 1959年 8 月14日 北朝鮮帰還協定の調印と韓国
- 1959年11月 4 日 静かで晴れがましい帰還を
- 1960年 4 月 6 日 対馬海峡を再び“海の銀座”に
- 1960年 4 月21日 韓国暴動の意味するもの
- 1960年 4 月25日 暴力を誘発する者の責任
- 1960年 4 月27日 大韓民国が安定する道
- 1960年 5 月 9 日 日韓関係の正常化を

新潟日報

- 1957年 5 月23日 日韓会談の再開に望む
- 1957年 7 月28日 韓国の誠意を期待する
- 1958年 4 月29日 制限された公海の自由
- 1959年 2 月 1 日 北鮮帰国の決意表明を喜ぶ
- 1959年 2 月19日 北鮮の申入れを受け入れよ
- 1959年 3 月 8 日 あくまで人道的決定を貫け

1959年4月15日 北鮮説得に努力を惜しむな
 1959年5月29日 日鮮会談の決裂を避けよ
 1959年6月12日 “北鮮帰還” 妥結と今後の備え
 1959年6月18日 韓国反省の要
 1959年7月9日 自主的処理の決意が必要
 1959年7月19日 漁船員送還を強力に要求せよ
 1959年8月1日 日韓会談再開
 1959年8月8日 次の課題は日韓会談の妥結
 1959年8月14日 日朝交渉の成功を喜ぶ
 1959年8月19日 日韓会談の実を結ばしめよ
 1959年9月23日 帰還促進の話し合いを
 1959年10月29日 帰還解決を喜ぶ
 1959年12月3日 不可解な竹島問答
 1959年12月9日 混乱回避に努力を望む
 1959年12月14日 帰還船の一路平安祈る
 1959年12月16日 韓国の反省をうながす
 1960年2月17日 性根をすえてかかれ
 1960年2月22日 韓国米輸出は見合わせよ
 1960年3月10日 断固たる対韓方策を
 1960年3月12日 竹島問題と日韓関係
 1960年3月19日 韓国の政策転換を期待
 1960年3月29日 日韓会談に前進を
 1960年4月19日 日韓会談への期待
 1960年4月24日 韓国は民主化するか
 1960年4月27日 暴動の早期収拾を望む
 1960年5月7日 強硬な許政氏の声明
 1960年5月15日 韓国の復興と民族主義

北国新聞

1957年4月30日 日韓関係の正常化に望む
 1957年6月15日 日韓の意見一致に寄す
 1957年6月18日 国際の信頼裏切る李大統領
 1957年8月14日 日韓関係を一新する道／韓国とくに李大統領に望む
 1958年1月5日 戦犯釈放と漁夫送還の解決
 1958年2月21日 南北朝鮮から撤兵問題
 1958年3月1日 まず釈放、それから会談／独立国の自覚を欠く交渉ぶり
 1958年7月10日 韓国への態度改めよ
 1958年12月25日 韓国の“乱闘国会”に思う
 1959年2月1日 日曜日の談話室から 在日朝鮮人の帰国は人道問題です
 1959年2月6日 目を離されない朝鮮
 1959年2月13日 韓国の横車に断固たれ
 1959年2月15日 日曜日の談話室から 北鮮帰還問題の真相はこうです
 1959年4月17日 “北鮮帰還” は解決せよ
 1959年5月22日 韓国の“不法” どう見る
 1959年6月12日 朝鮮人の帰国に寄せて
 1959年7月8日 朝鮮人を“祖国”へ帰せ
 1959年8月1日 “無条件” でない日韓会談
 1959年8月13日 北朝鮮帰還の終着点
 1959年8月20日 世論無視の日韓会談
 1959年8月23日 日曜日の談話室から 李ライン問題に対処するの道

1959年 9 月 4 日 難航する北朝鮮帰還
 1959年11月 5 日 北朝鮮へ帰還するか
 1959年12月 9 日 北朝鮮帰還に安全感を
 1959年12月18日 日朝両民族の友好は
 1959年12月22日 北朝鮮へ帰った一報
 1960年 2 月17日 韓国政府の謝罪を求む
 1960年 3 月16日 韓国の正副大統領選挙
 1960年 3 月21日 日韓交渉の全面打開へ
 1960年 4 月 9 日 日朝貿易の打開はかれ
 1960年 4 月13日 韓国の馬山暴動に思う
 1960年 4 月21日 非常戒厳令下の韓国
 1960年 4 月24日 日曜日の談話室から 韓国の人々へ「よかったですね」
 1960年 4 月28日 李大統領は遂にやめた
 1960年 4 月29日 “国父” 李承晩氏に呈す
 1960年 5 月 7 日 許政大統領代理に答う

信濃毎日新聞

1957年 6 月14日 速やかな釈放を期待する
 1957年 6 月18日 譲歩ばかりが能ではない
 1957年 8 月17日 互譲はむしろ韓国の番
 1957年12月31日 日韓相互釈放の妥結を喜ぶ
 1958年 2 月21日 中共軍の北鮮撤退
 1958年 3 月 2 日 日韓行詰り打開の二条件
 1958年 4 月13日 完全送還問題をまず処理せよ
 1958年 7 月11日 譲れない人道の一線
 1959年 2 月 1 日 北鮮帰国の実施に踏切れ
 1959年 2 月14日 送還実現に国際世論を確保せよ
 1959年 2 月27日 在日朝鮮人団体に冷静を望む
 1959年 3 月 8 日 帰還促進にならぬ北鮮側の拒否
 1959年 3 月15日 国際赤十字の原則を貫くために
 1959年 4 月17日 日赤案で帰還を実現せよ
 1959年 5 月22日 締めくくりに来た赤十字会談
 1959年 5 月29日 日赤の誠意にこたえよ
 1959年 6 月12日 北鮮帰還交渉の妥結を喜ぶ
 1959年 6 月17日 冷静に国際世論の理解を求めよ
 1959年 7 月 9 日 国際委の介入を促す努力
 1959年 7 月31日 無条件再開は歓迎するが
 1959年 8 月12日 日韓会談再開にあたって
 1959年 8 月13日 実施段階に入る北朝鮮帰還
 1959年 9 月17日 静かなる帰還のために
 1959年11月18日 韓国の善処求む
 1959年12月12日 妨害で帰還計画はやめられない
 1960年 2 月20日 日韓交渉と外務省の態度
 1960年 3 月20日 相互送還の実現
 1960年 4 月21日 韓国情勢の重大化
 1960年 4 月27日 韓国国民の怒り
 1960年 5 月 7 日 解せぬ日韓打開の条件

山陽新聞

1957年 6 月 9 日 相互釈放と日韓会談の再開

1957年 6 月25日 相互釈放に韓国の誠意を求める
 1957年 7 月26日 日韓交渉は譲歩にも限度あり
 1957年12月12日 日韓の相互釈放を促進せよ
 1957年12月31日 日韓抑留者問題の妥結を喜ぶ
 1958年 2 月20日 朝鮮の新事態を国連は再検討せよ
 1958年 4 月12日 日韓会談の再開に望む
 1958年 5 月 9 日 平和ライン委員会は穏当でない
 1958年 8 月20日 日韓交渉は筋を通せ
 1958年10月20日 日韓漁業交渉にのぞむ
 1958年11月18日 日韓会談に寄せて
 1959年 2 月 3 日 北鮮送還は人道問題だ
 1959年 2 月14日 決まった“北鮮帰還”
 1959年 2 月27日 抑留船員の送還を急げ
 1959年 2 月28日 北鮮帰還と国際赤十字
 1959年 3 月 8 日 北鮮と赤十字国際委に望む
 1959年 3 月10日 北鮮赤十字は再考せよ
 1959年 3 月16日 明白を欠く北鮮の態度
 1959年 4 月16日 歩み寄った日本北鮮赤十字会談
 1959年 5 月29日 北鮮側の歩み寄りを望む
 1959年 6 月12日 国際委の協力を期待する
 1959年 6 月15日 日韓関係と抑留船員問題
 1959年 6 月17日 遺憾な韓国の対日貿易断絶
 1959年 6 月23日 李ライン出漁と政府の責任
 1959年 7 月10日 日朝交渉の収拾を急げ
 1959年 7 月16日 国際赤十字が負うべき役割
 1959年 7 月19日 抑留漁船員の脱出と政府の責任
 1959年 8 月 1 日 日韓会談再開の申し入れ
 1959年 8 月 8 日 決まった北朝鮮帰還協定の調印
 1959年 8 月13日 抑留漁船員送還も早いほどよい
 1959年 9 月22日 北朝鮮帰還の円滑な進进行を望む
 1959年10月21日 北朝鮮への帰還促進が肝心
 1960年 3 月12日 韓国の真意をたしかめよ／海洋法会議の成功を望む
 1960年 3 月17日 韓国自由党の圧倒的勝利
 1960年 3 月20日 李ライン撤回に代償は不要
 1960年 4 月 6 日 日韓会談の再開を前に
 1960年 4 月21日 韓国の不幸な事態に思う
 1960年 4 月27日 韓国の政治情勢に寄せて
 1960年 4 月30日 日韓関係打開のよい機会
 1960年 5 月 3 日 韓国の漁業協定締結言明を歓迎
 1960年 6 月29日 李ライン解決に乗り出せ
 1960年 7 月 9 日 韓国の反省と善処を望む

15万部以上

愛媛新聞

1957年 4 月26日 日韓会談、今度こそ成立を
 1957年 6 月13日 日韓抑留者の相互釈放
 1957年10月22日 漁夫釈放の促進を図れ
 1957年12月31日 釈放される日韓抑留者
 1958年 3 月 2 日 国際海洋法会議と日本の立場

1958年 3月12日 日韓交渉の行詰まりをめぐって
 1958年 3月30日 譲歩に譲歩を重ねた対韓交渉
 1958年 4月13日 日韓会談の再開にのぞんで
 1958年 7月10日 釈放問題で交渉をこじらせるな
 1958年 8月19日 日韓漁業委の開会をひかえて
 1958年 9月 7日 釈放問題で韓国の再考を促す
 1958年10月 4日 日韓会談再開の意義
 1958年11月18日 行き詰まった日韓会談に望む
 1958年12月11日 対韓最高方針の策定に当って
 1958年12月16日 外交懸案持ち越しの内因を省みよ
 1959年 1月26日 日韓会談の延期と北鮮帰還運動
 1959年 2月14日 北鮮帰還の決定を歓迎する
 1959年 3月 3日 安保理提訴をシュン巡する時か
 1959年 3月 8日 “北鮮帰還”を曲解させぬ努力を
 1959年 4月14日 “国際委介入”の線で解決を望む
 1959年 6月 6日 帰還問題に北鮮側の反省を望む
 1959年 6月12日 “北鮮帰還”の妥結と今後の問題
 1959年 6月20日 漁船員の釈放に手段を尽くせ
 1959年 7月19日 抑留漁船員を早く帰すための道
 1959年 7月29日 帰還実現へ国際委の断を望む
 1959年 8月 1日 “日韓会談再開”をめぐって
 1959年 8月 8日 帰還協定の調印決定について
 1959年 8月13日 日韓会談再開にあたって
 1959年 8月20日 日韓会談、あくまでも自主外交で
 1959年 9月30日 空白の帰還業務を軌道にのせよ
 1959年10月20日 帰還問題は実際に即して
 1959年10月31日 北朝鮮帰還問題の了解成立
 1959年12月24日 暗礁に乗り上げた日韓交渉
 1960年 2月20日 重大転機をむかえた日韓会談
 1960年 3月 8日 対韓交渉に韓国の誠意を望む
 1960年 3月17日 韓国正副大統領選挙と日韓問題
 1960年 3月19日 韓国は米国の助言を誠実に聞け
 1960年 3月21日 日韓相互送還の不安について／海洋法会議では柔軟な方針で
 1960年 4月 1日 抑留漁船員の帰国を喜ぶ
 1960年 4月13日 日韓会談の再開に望むこと
 1960年 4月21日 憂慮される韓国の非常事態
 1960年 4月27日 韓国混乱の早期収拾のぞむ
 1960年 4月28日 李大統領辞任と韓国の今後
 1960年 5月 5日 日韓正常化を甘くみるな

熊本日日新聞

1957年 6月11日 韓国との関係正常化へ
 1957年 6月27日 朝鮮の緊張を解消せよ
 1957年 8月13日 外交の運びと意気込み
 1957年 8月27日 山吹外交にならぬよう
 1958年 1月21日 外交は民族の生命線
 1958年 7月15日 やはり静観がいい
 1958年10月30日 韓国側の良識に訴える
 1958年12月 2日 もう「潮時」ではないか
 1959年 2月 2日 北鮮送還と日韓問題

1959年2月3日 外交についての心構え
 1959年2月17日 北鮮帰還と日韓関係
 1959年3月9日 北鮮側の反省を望む
 1959年5月11日 大詰にきた日鮮会談
 1959年6月2日 外交国策の確立へ
 1959年6月9日 冷戦の転機と外交の任務
 1959年6月20日 抑留漁民の釈放を求む
 1959年7月21日 朝鮮政策を確立せよ
 1959年8月2日 再開される日韓会談
 1959年8月15日 北鮮帰還今後の問題
 1959年8月21日 注視される日韓会談
 1960年3月20日 相互送還をよろこぶ
 1960年3月22日 善隣外交の実践
 1960年4月8日 日韓会談に望む
 1960年4月17日 日韓会談前進の好機
 1960年4月22日 韓国暴動に思う
 1960年4月26日 アジアの民主主義
 1960年4月27日 ある独裁者の悲劇
 1960年5月2日 日韓関係の正常化を期待

南日本新聞

1957年4月26日 日韓会談の再開を望む
 1957年6月14日 日韓関係正常化への熱意
 1957年6月18日 対韓政策を練り直せ
 1957年12月12日 日韓問題解決の好機
 1958年2月20日 中共義勇軍の撤退表明
 1958年3月2日 抑留漁船員の全員送還を
 1958年3月4日 難局に立つ日ソ、日韓交渉
 1958年3月30日 日韓会談再開への疑問
 1958年4月13日 日韓会談に功を急ぐな
 1958年5月16日 新段階にきた日韓会談
 1958年8月22日 韓国側の再考を求めたい
 1958年9月20日 日韓会談の再開を望む
 1958年10月19日 日韓会談で現実的な解決を
 1958年11月4日 韓国側の良識をのぞむ
 1958年11月27日 日韓会談に確固たる態度を
 1958年12月17日 日韓会談に打開の道はないか
 1959年2月1日 北鮮送還は人道上当然の措置
 1959年2月12日 北鮮送還の冷静な処理を
 1959年3月1日 赤十字国際委員会に望む
 1959年3月11日 北鮮側の再考を要望する
 1959年3月26日 抑留漁船員の帰国促進の訴え
 1959年4月10日 有望になった漁船員釈放
 1959年4月18日 北鮮の再考を強く求める
 1959年5月9日 決断を迫られた日鮮会談
 1959年6月12日 余りに皮肉な結果
 1959年6月17日 確固たる対韓政策を
 1959年7月18日 国際委の決断望む
 1959年8月1日 日韓関係打開の時
 1959年8月8日 北朝鮮帰還の実現へ

1959年 8月14日 帰還遂行への決意
 1959年 8月21日 相互送還がさきだ
 1959年10月21日 北朝鮮帰還の打開を
 1959年12月16日 韓国の反省を求める
 1960年 1月31日 抑留漁船員をかえせ
 1960年 2月 8日 〔月曜論壇〕 韓国の大統領選挙（中保与作）
 1960年 3月20日 焦点は李ライン撤廃
 1960年 4月21日 韓国での流血に思う
 1960年 5月 4日 急展開する日韓関係
 1960年 7月 2日 李ライン海域の良識

| |
|--------|
| 12万部以上 |
|--------|

東奥日報

1958年10月30日 こんどこそ韓国側の譲歩望む
 1958年12月 4日 日韓会談はあせるな
 1959年 2月 2日 北鮮送還の実現を望む
 1959年 2月15日 送還問題で韓国の自重を望む
 1959年 3月 9日 北鮮送還問題の打開を望む
 1959年 6月13日 北鮮帰還交渉の妥結
 1959年 8月 9日 帰還協定調印に当って
 1959年 8月15日 日朝協定の調印
 1959年 8月21日 日韓会談を注視する
 1959年 9月28日 北朝鮮帰還業務の停滞
 1960年 2月25日 外交の指南料
 1960年 4月25日 韓国の情勢と日本
 1960年 4月28日 李大統領辞任

山形新聞

1957年 6月18日 見すかされた足元
 1957年 8月28日 「海の礼儀」守るべし
 1957年 9月16日 韓国軍削減の意味
 1957年11月25日 北鮮貿易はもうかるか
 1957年12月14日 日韓抑留者
 1957年12月19日 早くせよ日韓国交
 1958年 2月15日 抑留者を釈放せよ
 1958年 3月 5日 野蛮な“人質外交”
 1958年 4月 7日 二つの中国と朝鮮
 1958年 7月 9日 国会はこれでいいか
 1958年 7月12日 情味ある出方を望む
 1958年 8月22日 日韓会談の延期
 1958年 9月20日 日韓会談の再開
 1958年12月 1日 日韓漁業交渉
 1959年 1月 6日 外交の難問題
 1959年 2月26日 抑留船員の問題
 1959年 3月20日 国際世論に通ぜず
 1959年 5月16日 円滑な帰国へ
 1959年 6月12日 帰還業務を円滑に処理しろ
 1959年 7月22日 朝鮮人諸君に分別を望む
 1959年 7月30日 北朝鮮帰還

1959年8月1日 韓国提案
 1959年8月9日 [日曜随想] 日韓関係の正常化を希う（服部卓四郎）
 1959年10月14日 北朝鮮帰還
 1960年1月28日 日韓会談
 1960年3月10日 対韓対策
 1960年5月3日 日韓の窓
 1960年5月10日 韓国近くなる
 1960年7月1日 帰還協定延長
 1960年7月9日 李ライン

北日本新聞

1958年3月11日 日本外交のよろめき
 1958年3月15日 外交と党略を混同するな
 1958年7月12日 南北朝鮮政府と抑留朝鮮人
 1958年12月6日 在日朝鮮人の北鮮帰国問題
 1959年2月11日 北鮮帰国と日韓交渉
 1959年2月17日 在日朝鮮人の帰国問題
 1959年6月3日 大詰めの日鮮会談
 1959年6月17日 日韓関係打開のために
 1959年10月21日 北朝鮮帰還を空転さすな
 1960年2月25日 李ラインと抑留漁夫
 1960年3月12日 対岸貿易への開眼

静岡新聞（「東京だより」）

* 全てタイトルがないので内容を（ ）で示した

1957年3月30日 （日韓交渉と人質外交：（加来美知雄））
 1957年6月24日 （日韓交渉・抑留漁夫釈放問題 上：（原勝））
 1957年6月25日 （日韓交渉・抑留漁夫釈放問題 下：（原勝））
 1957年11月24日 （日韓交渉・抑留者の相互釈放：（堀毛一磨））
 1958年1月12日 （日韓交渉の打開：（堀毛一磨））
 1958年2月12日 （漁船拿捕と日韓関係：（高山岩男））
 1958年2月24日 （二つの中国・二つの朝鮮の動向：（堀毛一磨））
 1958年2月27日 （中共の北鮮撤退の背景：（高山岩男））
 1958年3月6日 （韓国，中共，ソ連の対日批判：（原勝））
 1959年2月17日 （在日朝鮮人の北鮮送還と日韓関係：（近藤泰一郎））
 1959年2月19日 （朝鮮人の帰国問題と日韓貿易関係：（稲宮又吉））
 1959年2月28日 （在日朝鮮人の北鮮帰還と韓国の反発：（堀毛一磨））
 1959年3月15日 （在日朝鮮人の北鮮帰還問題：（高山岩男））
 1959年3月27日 （帰国問題をめぐる南北朝鮮の対応：（堀毛一磨））
 1959年5月4日 （日韓関係の現状：（近藤泰一郎））
 1959年6月5日 （漁船拿捕と日韓関係：（近藤泰一郎））
 1959年6月6日 （日米安保と韓国の対日攻撃：（堀毛一磨））
 1959年6月24日 （帰還問題に関する日鮮会談と韓国の対応：（近藤泰一郎））
 1959年7月14日 （朝鮮海峡における漁船保護：近藤泰一郎）
 1959年8月21日 （第四次日韓会談：（近藤泰一郎））
 1959年10月7日 （最近の労働争議：（近藤泰一郎））
 1959年10月17日 （北鮮帰還問題：（近藤泰一郎））
 1959年11月16日 （北鮮展覧会：（近藤泰一郎））
 1959年12月19日 （北鮮帰還第一船出港：（堀毛一磨））
 1960年2月16日 （中共，北鮮との関係改善：（近藤泰一郎））

- 1960年 2月24日 （李ラインにおける韓国の不法行動：（高山岩男））
- 1960年 4月 1日 （日韓抑留者相互送還問題：（近藤泰一郎））
- 1960年 4月 7日 （警察力の警備強化：（近藤泰一郎））
- 1960年 4月26日 （韓国における暴動：（高山岩男））
- 1960年 5月 4日 （李承晩退陣と安全保障：（大井篤））
- 1960年 5月 7日 （李承晩辞任と日韓関係：（近藤泰一郎））

高知新聞

- 1957年 6月13日 日韓問題解決への糸口
- 1957年 6月28日 国連軍の通告と朝鮮の新事態
- 1957年 7月31日 理解に苦しむ韓国要求
- 1957年12月18日 赤十字案をけた韓国
- 1957年12月31日 相互釈放の解決に喜ぶ
- 1958年 2月 2日 抑留漁夫帰る
- 1958年 2月21日 中国、北鮮の共同声明
- 1958年 3月 2日 日韓会談の無期延期
- 1958年 4月15日 日韓会談の再開
- 1958年 5月 5日 李独裁への批判
- 1958年 8月20日 日韓交渉促進のために
- 1958年 9月 9日 日韓交渉を阻む韓国の態度
- 1958年11月18日 日韓交渉に筋を通せ
- 1959年 2月 1日 外相の北鮮送還方針に賛成する
- 1959年 2月 3日 外交へ挙党態勢示せ
- 1959年 2月14日 理不尽きわまる韓国の態度
- 1959年 3月 1日 赤十字精神に訴える
- 1959年 3月 8日 北鮮帰還は国際委に任せ
- 1959年 3月15日 赤十字国際委の声明
- 1959年 4月15日 日鮮会談を成功させよ
- 1959年 4月27日 北鮮にあと一步の譲歩を望む
- 1959年 5月28日 日鮮会談を決裂さすな
- 1959年 6月12日 日鮮会談は事実上妥結したが
- 1959年 6月17日 黙過できぬ韓国の報復行為
- 1959年 7月10日 国連委の協定承認を望む
- 1959年 7月20日 抑留漁船員の送還を国際世論へ
- 1959年 8月 1日 日韓会談の無条件再開を歓迎する
- 1959年 8月 7日 「帰還」の調印に問題は残らぬか
- 1959年 8月13日 韓国の術策はもう通らぬ
- 1959年 8月17日 自衛船は出させてはならぬ
- 1959年 9月21日 帰還業務始まる
- 1959年 9月28日 帰還業務を円滑に
- 1959年10月11日 帰還業務の促進
- 1959年10月14日 日韓貿易再開へ
- 1959年12月 7日 柳韓国大使の新提案
- 1959年12月13日 韓国はどこまで横車を押すのか
- 1960年 2月18日 韓国の不法を国際世論に訴える
- 1960年 2月22日 米と引き換えの送還は不合理だ
- 1960年 3月18日 韓国は対日政策を改めよ
- 1960年 3月21日 相互送還の決定
- 1960年 4月10日 日韓会談の再開に望む
- 1960年 4月21日 韓国暴動の根は深い

- 1960年4月24日 権力の座を追われゆく李大統領
- 1960年4月27日 李大統領の辞意表明
- 1960年5月3日 日韓会談に誠意を
- 1960年5月10日 韓国に反省を望む
- 1960年7月1日 北朝鮮帰還協定を延長せよ

タ刊フクニチ

※1958年10月まで [筆の塵]、1958年11月以降 [東風西風]

- 1957年6月18日 遅れる韓国の返事
- 1958年1月11日 “茶の間” の外交
- 1958年2月1日 李ライン廃止への道
- 1958年11月15日 李さんも考えて…
- 1959年2月4日 藤山さんの決意
- 1959年2月14日 人道的措置への返礼
- 1959年3月16日 四原則の支え
- 1959年4月15日 抑留者と洗脳

フクニチ（1959年5月タ刊フクニチから改称）[東風西風]

- 1959年7月9日 負けるな日赤
- 1959年7月31日 視察団の効用
- 1959年8月4日 竹島・李ライン・右翼
- 1959年9月11日 “自衛船” の功罪
- 1959年12月9日 “ただ、お静かに”
- 1960年2月18日 抗議外交
- 1960年3月22日 玄界灘と太平洋
- 1960年3月24日 “自由” の中身
- 1960年4月13日 おとなりの暴動
- 1960年4月21日 李さんの再教育
- 1960年4月27日 李承晩の涙
- 1960年4月29日 “コンロン報告”
- 1960年6月4日 新しき流れ
- 1969年7月2日 再発した漁船捕獲

長崎民友新聞

- 1957年6月18日 李承晩さんに！
- 1958年1月7日 抑留船員の受け入れ体制を急げ
- 1958年3月18日 困った日韓間の関係
- 1958年4月3日 日韓会談の再開には漁夫の釈放が飽くまで前提
- 1958年7月12日 日韓交渉に政府は毅然たれ
- 1958年8月29日 日韓漁業委の中絶について

長崎日日新聞（[一日一言] は全て市川謙一郎の執筆（長崎新聞も同様））

- 1957年5月2日 相互釈放問題の好転に期待
- 1957年6月13日 日韓相互釈放の妥結を喜ぶ
- 1957年6月18日 日韓交渉のつまずき
- 1957年12月13日 日韓抑留者の早期釈放を
- 1958年2月25日 海洋法国際会議と日本
- 1958年6月28日 [一日一言] 断固、抗議せよ 第二星丸について
- 1958年7月2日 [一日一言] 八十人の断食 見殺しには出来ぬ
- 1958年8月20日 [一日一言] 不安なる対馬 県当局は解決せよ

長崎新聞（1959年長崎民友新聞と長崎日日新聞が合併，再統合）

- 1959年 1 月23日 〔一日一言〕 明石丸の悲劇 生命の危険と失職と
 1959年 2 月 3日 〔一日一言〕 海峡の大恐怖 北鮮送還について
 1959年 2 月14日 〔一日一言〕 韓国の仕返し 北鮮送還について
 1959年 2 月28日 〔放射能〕 釜山の漁船員を思え
 1959年 6 月27日 〔放射能〕 首相をチャーターせよ
 1959年 7 月16日 〔一日一言〕 自衛船と論争
 1959年 7 月21日 〔一日一言〕 釜山の日本人 あとの反動が怖い
 1959年 7 月30日 〔一日一言〕 収容所の真相 抑留日本人の嘆き
 1959年 8 月13日 〔一日一言〕 名より実を 日韓会談への希望
 1959年 9 月 3日 〔一日一言〕 引揚げの潮時 自衛船は目的を達す
 1959年 9 月 5日 〔一日一言〕 帰還の案内書 総連の抗議は当たらず
 1959年12月11日 〔一日一言〕 日韓相互送還 今度こそ本当だろう
 1960年 3 月 9日 〔一日一言〕 次の手は如何 韓国非難について
 1960年 4 月21日 〔一日一言〕 韓国の大悲劇 馬耳東風について
 1960年 4 月26日 〔一日一言〕 李承晩の退陣 中途半端はよくない
 1960年 4 月29日 〔一日一言〕 即時送還せよ 釜山残留四十七人
 1960年 4 月30日 〔一日一言〕 果して自殺か 李家心中について
 1960年 6 月30日 〔一日一言〕 李ライン対策 それどころでない話
 1960年 7 月16日 〔一日一言〕 韓国と直談判 自衛艦とは気が早い

大分合同新聞

- 1957年 7 月12日 藤山経済外交に望む
 1958年 1 月 8日 日韓関係の正常化のために
 1959年 2 月15日 日韓関係を国際世論に問え
 1959年 3 月15日 帰還問題に一段の努力を
 1959年 4 月21日 北鮮赤十字の理解を望む
 1959年 5 月22日 韓国の異状を広く訴えよ
 1959年 6 月 6日 日朝会談を成立させよ／韓国の暴状を放置するな
 1959年 6 月12日 北鮮帰還と韓国側の態度
 1959年 6 月17日 韓国の対日貿易断絶と対策
 1959年 7 月 9日 日朝会談の失敗とその責任
 1959年 7 月19日 抑留漁船員のデモに思う
 1959年 8 月 1日 日韓会談再開を歓迎する
 1959年 8 月14日 北朝鮮帰還調印を喜ぶ／不愉快な韓国側のかけひき
 1959年11月15日 北朝鮮帰還者を心よく送ろう
 1960年 2 月21日 韓国米輸入で悪例を残すな
 1960年 3 月25日 明るくなった日韓関係
 1960年 4 月 6日 日韓貿易の再開と問題点
 1960年 4 月21日 爆発点にきた韓国の圧政
 1960年 4 月27日 韓国政情の正常化を望む
 1960年 5 月 5日 日韓関係の楽観はまだ早い